

電気エアレスプレー

3A0173C

JA

建築塗料およびコーティングのポータブルスプレー塗布用。目的には使用しないで下さい。
ヨーロッパの爆発性雰囲気での使用が承認されない。

3300 psi (227 bar, 22.7 MPa) 최대 작동 압력



重要な安全情報
本取扱説明書のすべての警告および説明を参照して下さい。説明書は保管しておいて下さい。

関連マニュアル：



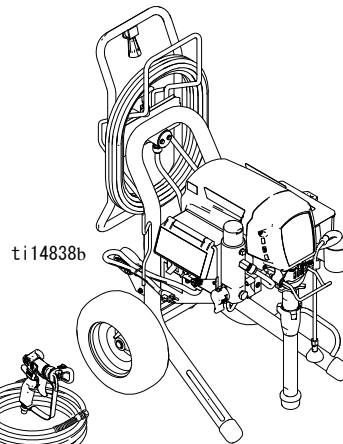
3A0156



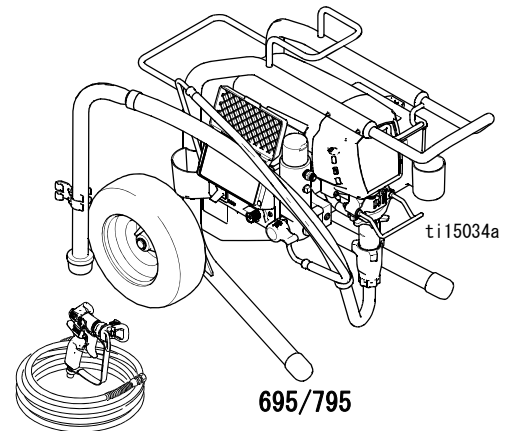
3A0158



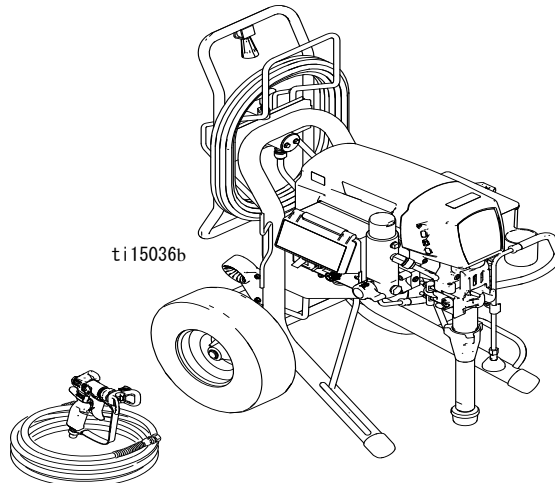
311861



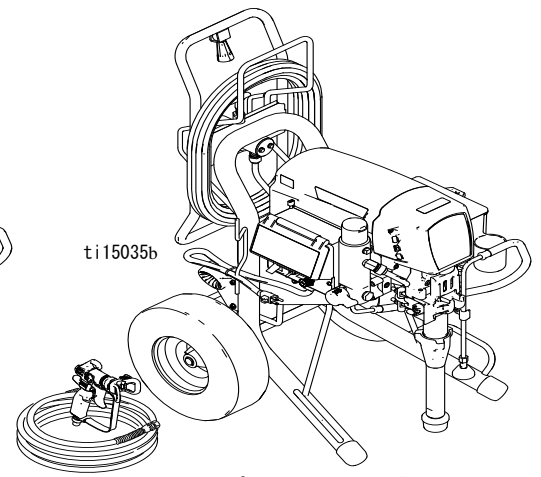
695/795 プレミアム・ハイ・パワー



695/795



マーク V



1095/1595 プレミアム・ハイ・パワー

型番

型番

695 ウルトラマックス III			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258719	✓	✓	
258720		✓	
258722			✓
258872			✓
258873		✓	
258874			✓
258876		✓	
258877	✓	✓	
826124	✓	✓	
826125		✓	
826127			✓
795 ウルトラマックス III			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258723	✓	✓	
258724		✓	
258878	✓	✓	
258879			✓
258881		✓	
258882	✓	✓	
826128	✓	✓	
826129		✓	
1095 ウルトラマックス III			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258727	✓	✓	
258728		✓	
258883	✓	✓	
258884		✓	
258886	✓	✓	
826130	✓	✓	
826131		✓	
1595 ウルトラマックス III			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258763	✓	✓	
258764		✓	
258765	✓	✓	
258766		✓	
826132	✓	✓	
826133		✓	
826134	✓	✓	
826135		✓	
マーク IV			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258729	✓	✓	
マーク V			
機種	クイック・リール	ハイ・ボーイ	ロー・ボーイ
258730	✓	✓	
258887	✓	✓	

目次

型番	2	モータの交換	30
目次	3	取り外し	30
警告	4	設置	30
各構成部品の名称	7	695/795/Mark IV の置換えポンプ交換	32
圧力解放手順	8	取り外し	32
接地	9	設置	33
電源条件	9	置換えポンプ交換 1095/1595/Mark V	34
延長コード	9	取り外し	34
缶	9	設置	35
故障対策	10	ホース・リール	37
機械的 / 液体の流れ	10	取り外し	37
電気系統	13	設置	38
240 VAC 及び 110 VAC モータ制御ボード	21	リード・スイッチの交換	39
240 VAC フィルタ・ボード	23	取り外し	39
圧力調節ポテンシオメータ	24	設置	39
圧力コントロールトランスデューサ	25	配線図	40
メモ	27	120V モデル:	40
ドライブ及びベアリングのハウジングの交換	28	120V モデル (15/20 アンペア・スイッチ付き):	41
分解	28	240V モデル:	42
組付	28	メモ	43
		Graco Standard Warranty	44
		Graco Information	44

警告

以下の警告は本機器の据え付け、使用、接地、維持、修理についてです。感嘆符のシンボルは一般的な警告を、危険シンボルは手順自体の危険性を知らせます。これらの警告を参照して下さい。加えて、当てはまる場合は製品独自の警告が本取扱説明書にあります。

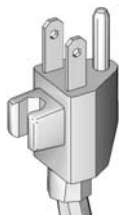
警告



接地（アース）

本製品は設置が必要です。短絡が発生した場合に、接地は電流の逃げ道の配線を提供して、電気ショックの危険性を減少させます。本製品は適切な接地プラグがあるアース線付きのコードを装備しています。このプラグは地域の各取締法に従って適切に設置され、又接地されたコンセントに差し込まなければなりません。

- 接地プラグの不適切な設置は電気ショックの危険を招きます。
- このコード及びプラグの修理及び交換が必要な時は、接地線をどちらの平刃端末にも接続しないで下さい。
- 設置線は絶縁された電線で、外側の表面が緑色で、黄色の縞が入るものも入らないものもあります。
- 接地の指示が完全に理解されない場合、又は製品が正しく接地されているかどうか疑問のある場合は、資格を持った電気技師あるいは修理員に問い合わせして下さい。
- 提供されたプラグを改良しないで下さい。コンセントに嵌らない場合には、資格を持った電気技師によって適正なコンセントを設置して下さい。
- 本製品は公称 120V の回路で使用される様に作成されており、下図に表わされるプラグに類似した接地プラグが付いています。



- 製品はプラグと同様の構造のコンセントにのみ接続して下さい。
- 本製品にはアダプタは使用しないで下さい。

拡張コード：

- 本製品には 3 本足の接地プラグと本製品のプラグを受け付ける 3 穴のレセプタクルが有る 3 線式延長コードのみを使用して下さい。
- 延長コードが破損していない事を確認して下さい。延長コードが必要な場合は、製品が引き込む電流に耐える最低限 12AWG (2.5 mm²) を使用して下さい。
- 規格が下回るコードの使用は電圧の低下、電力の損失と過熱を招きます。



警告



火災、爆発の危険

溶剤または作業場所中で気化した塗料のような可燃性ガスは、引火または爆発の恐れがあります。火災および爆発を避けるには：

- 直火あるいは引火の原因となる煙草、モータ、電気器具等の付近では、可燃性のもの、易燃性のものをスプレーしないで下さい。
- 器具の中を通るペンキあるいは溶剤は静電気を起こすことがあります。静電気はペンキ及び溶剤のガスがあると、出火もしくは爆発の危険をもたらします。静電気の放電及び火花を防ぐ為に、ポンプ、ホース・アセンブリ、スプレー・ガンを含むスプレー・システムの全部品及びスプレーを行う場所とその周辺の物は適切に接地しなければなりません。グラコの導電性の、あるいは接地された高圧エアレス・ペンキ・スプレーヤ・ホースをお使い下さい。
- 70° F (21° C) 以下の引火点を持つ物質で洗浄しないで下さい。水溶性の物質及びミネラル・スピリッツ系の物質のみをご使用下さい。お手元の液体についての詳細は、液体の代理店もしくは小売店に MSDS (製品安全データシート) をご請求下さい。
- 静電気の放電を防ぐために、全ての容器及び回収システムが接地されている事を確認して下さい。
- 接地されたコンセントに接続し、又接地された延長コードを利用して下さい。3 極から 2 極へのアダプタは使わないで下さい。
- ハロゲン化炭化水素を含むペンキ及び溶剤を使用しないで下さい。
- スプレーを行う場所は充分換気をして下さい。付近に大量の新鮮な空気が流れる様にして下さい。ポンプ・アセンブリは換気の良い場所に置いて下さい。ポンプ・アセンブリにはスプレーしないで下さい。
- スプレーする場所では煙草を吸わないで下さい。
- スプレーをする場所では、電気のスウィッチ、エンジン、或いは同様の火花を出す様な製品を操作しないで下さい。
- スプレーをする場所は清潔に保ち、ペンキや溶剤の容器、ポロ布、その他の可燃性の物を置かないで下さい。
- スプレーされているペンキ及び溶剤の内容物を認識して下さい。材料の安全についてのデータ集 (MSDS) とペンキ及び溶剤の容器に付随するラベルを全て読んで下さい。製造者によるペンキ及び溶剤の安全に関する指導に従って下さい。
- 消火器具が備えられ、又これが使えるものでなければなりません。
- スプレー装置はスパークを発生させます。可燃性液体を洗浄用に噴霧または使用する場合、スプレー装置を爆発性蒸気から最低 20 フィート (6 m) 離して下さい。



皮膚への噴射の危険

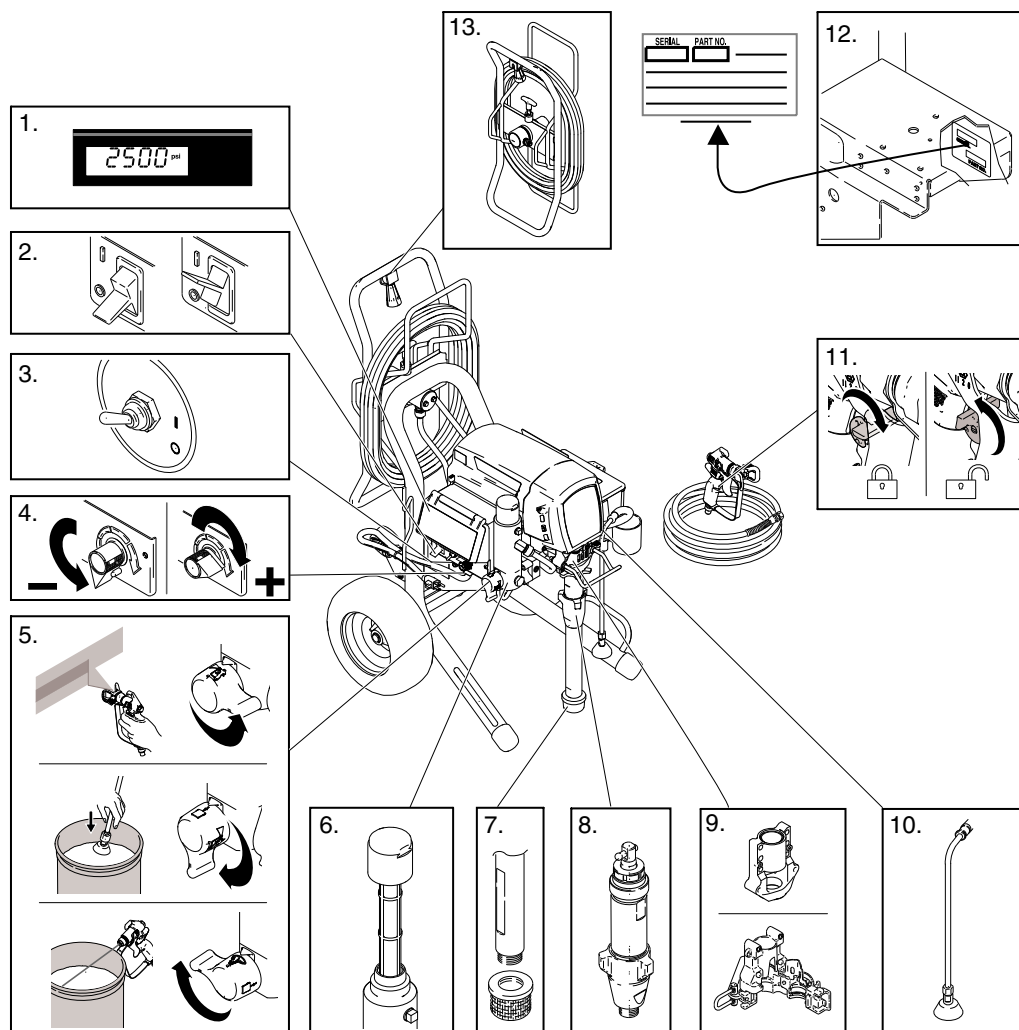
- 人間もしくは動物に向かってガンやスプレーを発射しないで下さい。
 - 手やその他の体の部分を噴射物からを離して下さい。例えば、液漏れを体の一部で止めようとしないで下さい。
 - 常にノズル先端ガードを使って下さい。ノズル先端ガードが定位置にない場合はスプレーしないで下さい。
 - グラコのノズル先端をご利用下さい。
 - ノズル先端の清掃及び交換は注意深く行って下さい。ノズル先端がスプレー中に詰まった場合は、ノズル先端を清掃の為取り外す前にユニットをオフにして圧力を解放する**圧力解放手順**に従って下さい。
 - 誰も人が付いていない場合は、ユニットを通電のまま、或いは加圧したままにしないで下さい。ユニットが使用されていない時は、ユニットをオフにし、ユニットをオフにする為の**圧力解放手順**に従って下さい。
 - 高圧スプレーが、有害物質を体内に噴射し重篤な傷害をもたらす可能性もあります。この様な噴射があった場合は、**直に外科処置を受けて下さい**。
 - ホースと部品の破損の兆候を点検して下さい。破損したホース及び部品は交換して下さい。
 - 本システムは 3300psi (圧力単位: 平方インチ当たりのポンド) の圧力が出ます。最低限 3300psi の規格のグラコ交換部品もしくは アクセサリをご利用下さい。
 - スプレーしない時は必ずトリガー・ロックを掛けて下さい。トリガー・ロックが正しく機能しているか確認して下さい。
 - ユニットを操作する前に、全ての接続が確実にされている事を確認して下さい。
- ユニットの停止と圧を急速に逃がす方法を理解して下さい。コントロールについては十分に精通して下さい。



警告

 	<p>装置の誤用による危険 装置を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ペンキの吹き付けの際は、常に適切な手袋、目の保護具、呼吸装置或いはマスクを着用して下さい。 子供の側では装置を動かしたり、ペンキの吹き付けをしないで下さい。子供は常に器具から遠ざけて下さい。 手を伸ばし過ぎたり、不安定な支えの上に立たないで下さい。常に有効な足場を使い、バランスを保って下さい。 緊張を保ち、取りかかっている作業から目を離さないで下さい。 誰も人が付いていない場合は、ユニットを通電のまま、或いは加圧したままにしないで下さい。ユニットが使用されていない時は、ユニットをオフにし、ユニットをオフにする為の 圧力解放手順に従って下さい。 疲労しているとき、または薬物の服用や飲酒状態で装置を操作しないで下さい。 ホースをよじれさせたり、曲げ過ぎないで下さい。 グラコが特定したものを超過する気温及び圧力にホースをさらさないで下さい。 器具を引っぱたり、持ち上げたりする為にホースに力を加えないで下さい。
 	<p>感電による危険 本器具は接地が必要です。不適切な接地、設定またはシステムの使用により感電する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ケーブル接続を外したり、装置の修理を開始する前にメインスイッチの電源を OFF にし、電源を抜きます。 接地された電源にのみ接続します。 すべての電気配線は資格を有する電気工事士が行う必要があります。ご使用の地域におけるすべての法令に従って下さい。
	<p>加圧されたアルミニウム部品の危険 加圧された器具におけるアルミニウムに不適合な液体を用いると、重大な化学反応及び器具の破裂が生じます。この警告に従わないと死亡事故、重大な人身事故、或いは物損をもたらす可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1,1,1-トリクロロエタン、塩化メチレン、その他のハロゲン化炭化水素溶剤あるいは、その様な溶剤を含む液体は使用しないで下さい。 その他の多くの液体もアルミニウムに反応する化学品を含む可能性があります。材料の仕入れ先に連絡して適合性を調べて下さい。
 	<p>回転部品の危険 運動部品により指や身体の一部を挟んだり、傷つけたり、切断したりする可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動部品に近づかないで下さい。 保護ガードまたはカバーを外したまま装置を運転しないで下さい。 加圧された装置が、不意に動き出すことがあります。装置の点検、移動または修理前には、本説明書の圧力の逃がし方の手順に従い、全ての電源を遮断して下さい。
	<p>個人用保護具 目の怪我、聴力傷害、有毒ガスの吸入、火傷等の重大な人身事故を避けるため、装置の運転、修理を行う時、または作業場所にいる時には適切な保護具を着用する必要があります。保護具の例としては以下のようなものがあります：</p> <ul style="list-style-type: none"> 目の保護具及び聴力保護具。 液体および溶剤製造元が推奨する呼吸マスク、防御服、及び手袋。

各構成部品の名称



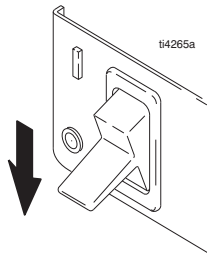
ti14839b

1	プレミアムデジタルディスプレイ
2	スイッチ ON/OFF
3	ウォッチドッグ™・スイッチ (マーク V にはご用意がありません)
4	圧力コントロール
5	プライム / スプレーバルブ
6	フィルタ
7	サイフォンチューブ
8	Pump
9	ベアリングハウジング / ProConnect™
10	ドレンチューブ
11	引き金ロック
12	モデル / シリアル タグ
13	ホース・リール

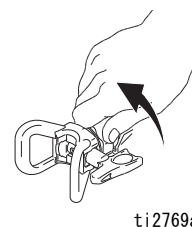
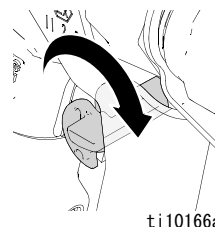
圧力解放手順



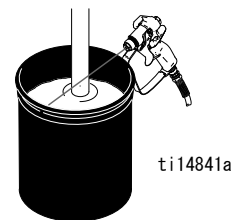
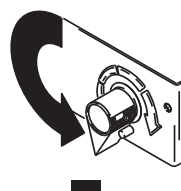
1. 電源を OFF にします。7 秒間待って放電させます。



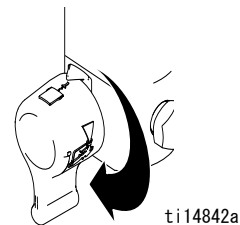
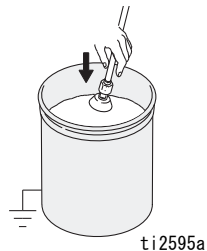
2. ガンの引き金の安全装置をロックします。
ガードおよびスイッチを取り外します。



3. 圧力を最低設定にします。ガンの引き金を引いて圧力を開放します。



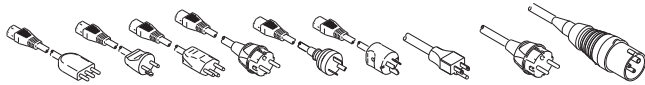
4. ドレンチューブを缶の中に入れます。
プライム・バルブをドレンの位置まで閉めます。



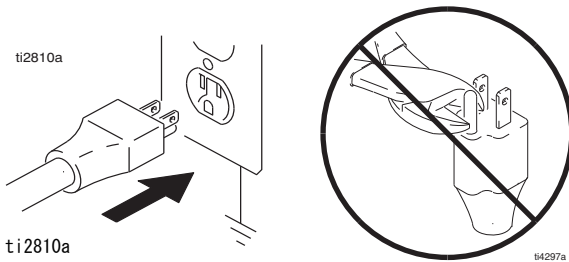
接地

装置は必ず接地するようにして下さい。接地を行うことで、静電蓄積または回路短絡による電流を配線を通して逃がし、スタティックショックおよび感電の危険を減らします。

スプレー装置のコードは、適切な接地接点のある接地ワイヤ付きです。



プラグは、各自治体の条例に従って適切に取り付け、接地が行われたアウトレットに接続する必要があります。



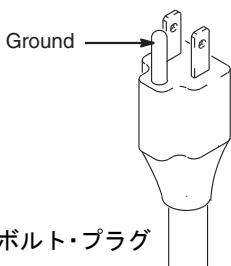
プラグを改造しないで下さい。プラグに手を加えた場合は、保証が無効となります。プラグがアウトレットに合わない場合は、資格を有する電気工事士に取り付けを行わせるようにして下さい。アダプタは使用しないで下さい。

電源条件

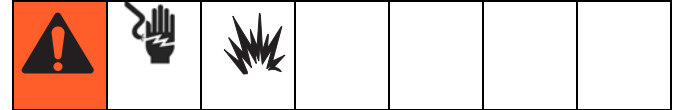
- 100-120V 装置の要件 : 100-120 VAC、50/60 Hz、15A、単相
- 230V ユニットの要件 : 230 VAC、50/60 HZ、10A、単相

延長コード

延長コードは、損傷されていない接地接点があるもののみを使用します。延長コードが必要な場合は、3線 12 AWG (2.5 mm²) 以上のコードを使用して下さい。



缶

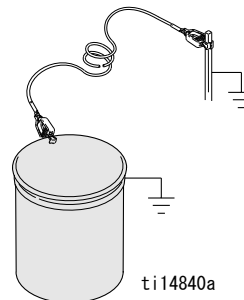


溶剤およびオイルベースの液 : ご使用の地域の法令に従って下さい。コンクリートのような 接地された表面に置かれた導電性金属缶のみを使用します。

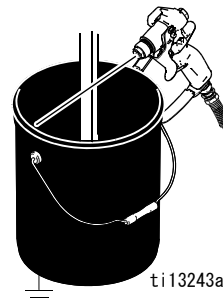
紙や厚紙など接地連続性を遮断するような非導電性の面に缶を置かないで下さい。



金属缶の接地 : 一方の端を缶に、他方の端を実際の地面に接続します。



洗浄または圧力開放時に接地の連続性を確保するには : 接地された金属缶に向けてスプレーガンの金属部分をしっかりと握ってガンの引き金を引きます。



故障対策

機械的 / 液体の流れ



圧力解放手順の実行 ; 8 ページ。

故障内容	チェック項目 問題がなければ次のチェックに進みます。	処置方法 問題があれば、この欄を参照。
E=XX が表示されます。	1. 故障しています。	1. 13 頁の表から解決法を決定します。
ウォッチドッグ・システム のミストリップ。EMPTY が表示されます。ポンプ が動作していません。	1. ウォッチドッグ・パラメータ 範囲外の運転状態。ポンプ出力 が低い。以下を参照。	1. 圧力を下げます。操作説明書を参照して 調整します。ウォッチドッグが有効 でない状態で操作するには、操作説 明書を参照してください。

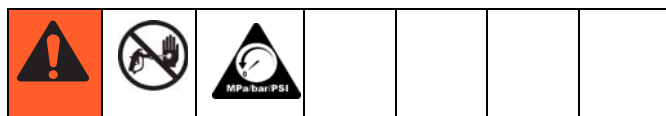
故障内容	チェック項目 問題がなければ次のチェック に進みます。	処置方法 問題があれば、この欄を参照。
ポンプの出力が低い	1. スプレーチップが磨耗しています	1. 8 ページの圧力解放手順に従ってチップを交換します。ガンまたはチップについての個別の取扱説明書を参照してください。
	2. スプレーチップが詰まっています	2. 圧力を弱めます。スプレーチップをチェックして拭きます。
	3. 塗料の供給	3. リプライム・ポンプを再び満たします。
	4. 取り入れストレーナが詰まっています	4. 取り外し拭いて再び設置します。
	5. 取り入れバルブボールとピストンボールが適格に配置されていません	5. 取り入れバルブを取り外し拭きます。ボールとシートに切り目が無いか見て、必要であれば交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。塗料は使用する前にこして、ポンプを詰まらせる粒子を取り除きます。
	6. 吸引ホース接続	6. 緩い接続があれば締めます。紛失したり損傷したシールが無いか調べます。
	7. 液体フィルタ、チップ・フィルタまたはチップが詰まっているか汚れている	7. フィルタを拭きます。取扱説明書を参照してください。
	8. プライムバルブに漏れがある	8. 圧力を弱めます。プライムバルブを修理します。
	9. ガン・トリガが離れている時にポンプが打ち続けられないことを確認します。(プライムバルブは漏れていません。)	9. ポンプの修理。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照して下さい。
	10. スロット・パッキングナットの周りの漏れは磨耗または損傷したパッキングを意味します	10. パッキングを交換します。ポンプ取扱説明書を参照してください。さらにピストンバルブシートに固まった塗料または切れ目が無いか見て、必要であれば交換します。パッキングナット/ウェット・カップを締めます。
	11. ポンプロッドの損傷	11. ポンプの修理。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
	12. 低い小さい圧力	12. 圧力コントロール・ノブを時計の針が回る方向に一杯に回します。確実に圧力コントロール・ノブが適格に設置され、時計の針が回る方向に回るようにします。問題が続く場合は、圧力トランスデューサを交換します。
	13. ピストンパッキングが磨耗または損傷している	13. パッキングを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照して下さい。
	14. ポンプの O リングが磨耗または損傷している	14. O リングを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
	15. 吸入バルブボールが材料で詰まっている	15. 取り入れバルブを清掃します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
	16. 圧力設定が低過ぎる	16. 圧力を上げます。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
	17. 厚いマテリアル使用時のホースの大幅な圧力低下	17. 直径がより大きなホースを使用するか、またはホース全長を短くします。100 フィート of 1/4 インチ以上のホースを使用した場合、スプレー装置性能が著しく低下します。最適な性能を維持するためには、3/8 インチのホース（最低 50 フィート）を使用して下さい。

故障内容	チェック項目 問題がなければ次のチェックに進みます。	処置方法 問題があれば、この欄を参照。
モータは作動しますがポンプが打ちません	1. 置換えポンプ・ピン (32) が損傷しているか欠損している状態です。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。	1. ポンプ・ピンが欠損していたらポンプ・ピンを戻します。保持スプリング (31) の全体が接続ロッドの溝にはまるようにして下さい。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
	2. 接続ロッド組立て (43) が損傷しています。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照して下さい。	2. 接続ロッド組立てを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照して下さい。
	3. ギアまたはドライブ・ハウジングが損傷しています。28 ページを参照のこと。	3. ドライブ・ハウジング組立てとギアに損傷が無いか確認します。必要であれば交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
スロートパッキンナットへ塗料が大量に漏れる	1. スロートパッキンナットが緩んでいます	1. スロートパッキンナットスペーサを外します。漏れが止まる程度までスロートパッキンナットを締めます。
	2. スロートパッキンナットが磨耗または損傷している	2. パッキンを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照して下さい。
	3. 排水ロッドが磨耗または損傷している	3. ロッドを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。
ガンから液体が出ている	1. ポンプまたはホース内に空気が入っている	1. 全ての液体接続を調べて締めます。プライム中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	2. チップの一部が詰まっている	2. チップが通るようにします。チップ・ガード取扱説明書 309640 を参照してください。
	3. 液供給中の液が少ないか、または空になっている	3. 液供給を再注入します。ポンプをプライムします。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。空の状態のポンプの運転を防ぐ為に液体供給を頻繁に点検して下さい。
ポンプのプライムが困難	1. ポンプまたはホース内に空気が入っている	1. 全ての液体接続を調べて締めます。プライム中は可能な限りポンプをゆっくり回転させます。
	2. 吸入バルブに漏れがある	2. 吸入バルブの汚れを除去し、ボールシートの欠けおよび破損がないこと、ならびにボールが固定されていることを確認して、バルブを再度組立てます。
	3. ポンプパッキンが磨耗している	3. ポンプのパッキンを交換します。ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照。
	4. 塗料が厚過ぎる	4. 塗料販売業者の推奨に従い塗料を希釈します。
表示がない状態で、スプレー装置が動作	1. ディスプレイが損傷しているか、または接続不良	1. 接続部分を点検し、ディスプレイを交換します。

電気系統

症状：スプレーが作動しないか作動が停止してしまいます。

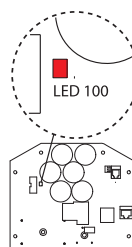
8 頁の圧力解放手順 の実行。



- スプレーを正しい電圧へプラグで、接地アウトレットに繋がます。
- 電源スイッチを 30 秒間オフにし、再びオンにします。(これでスプレーが普通の作動モードにあることが確実となります。)
- 圧力コントロール・ノブを時計の針が回る方向に 1/2 回します。
- デジタル表示をビューします。




--	--	--	--	--	--	--


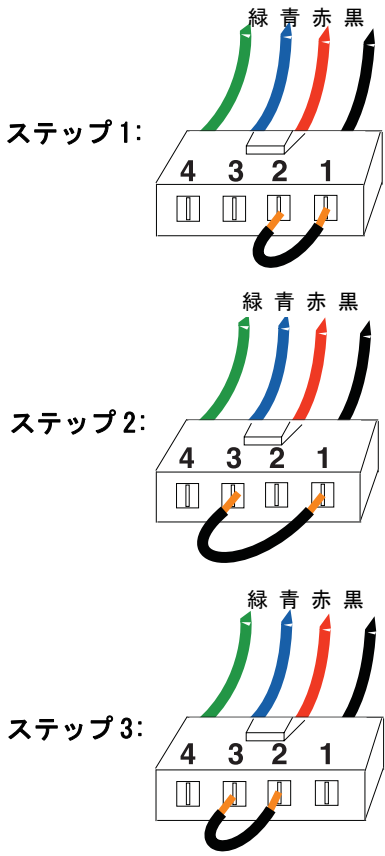
故障対策のためにカバーが取り除かれている時、感電または作動する部品による危険を回避するために、電源コードのプラグを抜いてから蓄えられた電気が分散する様に 30 秒待ちます。故障対策の工程では、電気のおよび作動中部品には触れないこと。


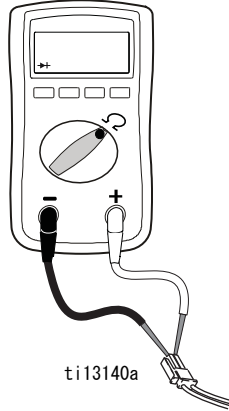



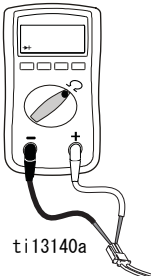

デジタル表示が無い場合、使い故障対策の問題に、制御ボードのステータスライトを利用します。オン/オフ・スイッチをオフにします。コントロールカバーを取り外し、電源をオンにします。ステータスライトを監視し、LED の点滅の合計回数がデジタルエラー・コードと等しくなります。例：点滅 2 回は E=02 です。

故障内容	チェック項目	チェック方法
スプレー装置が全く作動しない	19 頁のフロー・チャートを参照のこと。	
デジタル表示がブランク		
制御ボードのステータスライトが全く点灯しない		

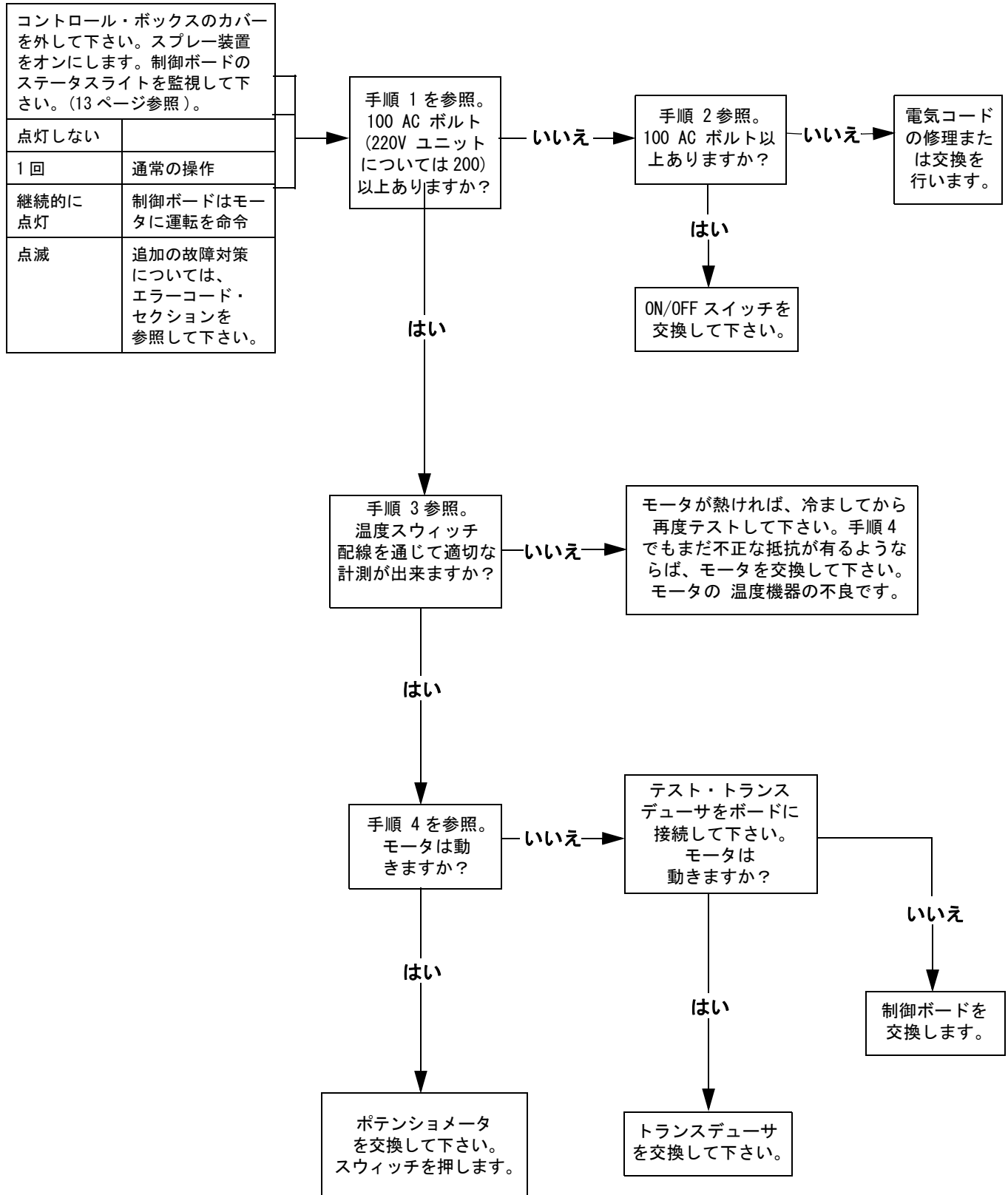
故障内容	チェック項目	チェック方法
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=02 を表示する 	トランスデューサ或いはトランスデューサの接続を点検して下さい。	<ol style="list-style-type: none"> システム内に圧がかかっていない事を確認して下さい。(8 ページの圧力解放手順参照) 液体流路中の詰まったフィルタの様な詰まりが無いか調べて下さい。 金属製のひもが無いエアレス塗料スプレー・ホース、最低 1/4 インチ x 50 フィートを使います。より小型のホースまたは金属製のひもが有るホースでは、高圧のスパイクが結果として生じる可能性があります。 スプレー装置をオフにして、スプレー装置の電源を抜いて下さい。 トランスデューサ及び制御ボードへの接続を調べます。 トランスデューサを制御ボード差し込み口から外します。そのトランスデューサと制御ボードの接点が汚れておらず、固定されている事を点検します。 トランスデューサをを制御ボードのソケットに再び接続します。電源を接続し、スプレー装置をオンにしてコントロール・ノブを時計回りに 1/2 回転させます。スプレー装置が正常に動かない場合は、スプレー装置をオフにして、次のステップに進んで下さい。 新しいトランスデューサを設置します。電源を接続してスプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回転させます。スプレー装置が正常に動かない場合は制御ボードを交換して下さい。
制御ボードのステータスライトが連続して 2 回点滅する		
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=03 を示す 	トランスデューサ及びトランスデューサの接続を点検します (制御ボードは圧カシグナルを検出していない)	<ol style="list-style-type: none"> スプレー装置をオフにして、スプレー装置の電源を抜いて下さい。 トランスデューサ及び制御ボードへの接続を調べます。 トランスデューサを制御ボードのソケットから外します。トランスデューサ及び制御ボードの接点の汚れと固定されているかを確認して下さい。 トランスデューサを再び制御ボードのソケットに接続します。電源を接続しスプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回まわします。スプレー装置が動かない場合は、スプレー装置をオフにして次の手順に進んで下さい。 動作の確認されたトランスデューサを制御ボードのソケットに接続します。 スプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回まわします。スプレー装置が動く場合は、新しいトランスデューサを設置します。スプレー装置が動かない場合には制御ボードを交換して下さい。 オーム計でトランスデューサの抵抗を調べてます (赤と黒の電線間は 9kΩ 以下で、緑と黄の電線間は 3-6kΩ)。
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=03 を示す 	トランスデューサ及びトランスデューサの接続を点検します (制御ボードは圧カシグナルを検出していない)	<ol style="list-style-type: none"> スプレー装置をオフにして、スプレー装置の電源を抜いて下さい。 トランスデューサ及び制御ボードへの接続を調べます。 トランスデューサを制御ボードのソケットから外します。トランスデューサ及び制御ボードの接点の汚れと固定されているかを確認して下さい。 トランスデューサを再び制御ボードのソケットに接続します。電源を接続しスプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回まわします。スプレー装置が動かない場合は、スプレー装置をオフにして次の手順に進んで下さい。 動作の確認されたトランスデューサを制御ボードのソケットに接続します。 スプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回まわします。スプレー装置が動く場合は、新しいトランスデューサを設置します。スプレー装置が動かない場合には制御ボードを交換して下さい。 オーム計でトランスデューサの抵抗を調べてます (赤と黒の電線間は 9kΩ 以下で、緑と黄の電線間は 3-6kΩ)。
制御ボードのステータスライトが連続して 3 回点滅する		

故障内容	チェック項目	チェック方法
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=05 を示す 	制御はモータに動く様に命令しているがモータの軸が回転しない。ロックされたロータの状態、モータと制御間のオープンコネクションの存在、モータ或いは制御ボードに問題がある、もしくはモータの使用アンペアが大き過ぎなどの可能性	<ol style="list-style-type: none"> 1. ポンプを外してスプレー装置を作動させてみて下さい。モータが動く様であれば、ロック或いは凍結したポンプ及びドライブ・トレインを調べて下さい。もし スプレー装置が動かない場合は手順 2 に進んで下さい。 2. スプレー装置をオフにして、スプレー装置の電源を抜いて下さい。 3. 制御ボードのソケットからモータ・コネクタを外して下さい。モータ・コネクタと制御ボードの接点に汚れが無く、固定されている事を確認して下さい。接点が 汚れておらず固定されていたら手順 4 に進んで下さい。 4. スプレー装置をオフにして、モータ・ファン 1/2 回転まわして下さい。スプレー装置を再びスタートさせます。スプレー装置が動いた場合は、制御ボードを交換して下さい。スプレー装置が動かない場合は手順 5 に進みます。 5. スピン試験の実行：大型の 4-ピン・モータ界磁コネクタで試験して下さい。スプレー装置から液体ポンプを外します。1と2ピンにジャンパーを配置しモータの試験を行います。モータ・ファンを 2 回転 / 秒で回転させます。ファンで運動に対するコギング抵抗を感じるはずですが、抵抗が無い場合には、モータを交換しなければなりません。1と3及び2と3ピンの組み合わせで繰り返します。この試験では4ピン（緑の電線）は使用しません。全てのスピン試験がプラスの場合には手順 6 へ進んで下さい。
制御ボードのステータスライトが、連続して 5 回点滅する		 <p>ステップ 1:</p> <p>ステップ 2:</p> <p>ステップ 3:</p>

故障内容	チェック項目	チェック方法																
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=05 を示す 	制御はモータに動く様に命令しているがモータの軸が回転しない。ロックされたロータの状態、モータと制御間のオープンコネクションの存在、モータ或いは制御ボードに問題がある、もしくはモータの使用アンペアが大き過ぎなどの可能性。	6. 界磁の短い試験を実行します ：大型の4-ピン・モータ界磁コネクタで試験を行って下さい。4ピン、接地配線、その他の残りのいずれの3ピンにも導通が有ってはいけません。モータ界磁コネクタ試験が失敗した場合にはモータを交換します。 7. モータの温度スイッチの点検 ：温度配線をプラグから抜きます。メーターをΩに合わせます。メーターは各モデルについての的確な抵抗を示すはずです。(下記の表を参照)。																
制御ボードのステータスライトが、連続して5回点滅する		 <table border="1" data-bbox="951 1050 1302 1394"> <thead> <tr> <th colspan="2">抵抗表：</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>695</td> <td>0Ω</td> </tr> <tr> <td>795</td> <td>2kΩ</td> </tr> <tr> <td>1095</td> <td>3.9kΩ</td> </tr> <tr> <td>1595</td> <td>6.2kΩ</td> </tr> <tr> <td>マーク IV</td> <td>2kΩ</td> </tr> <tr> <td>マーク V 120V</td> <td>6.2kΩ</td> </tr> <tr> <td>マーク V 240V</td> <td>3.9kΩ</td> </tr> </tbody> </table>	抵抗表：		695	0Ω	795	2kΩ	1095	3.9kΩ	1595	6.2kΩ	マーク IV	2kΩ	マーク V 120V	6.2kΩ	マーク V 240V	3.9kΩ
抵抗表：																		
695	0Ω																	
795	2kΩ																	
1095	3.9kΩ																	
1595	6.2kΩ																	
マーク IV	2kΩ																	
マーク V 120V	6.2kΩ																	
マーク V 240V	3.9kΩ																	

故障内容	チェック項目	チェック方法																
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=06 を示す  制御ボードステータスライトが連続して 6 回点滅する	スプレー装置を冷まします。冷めた状態でスプレーが作動する場合は、過熱の原因を修理します。スプレーを十分換気されたより涼しい場所に保管します。モータの空気取り入れ口が閉鎖されていないことを確実にします。スプレー装置が作動しない場合は、手順 1 に従って下さい。	<p>注：試験を行う為にはモータが冷めていなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 制御ボードの温度機器コネクタを点検します（黄色の配線）。 2. 温度機器コネクタを制御ボードのソケットから外します。接点に汚れが無く、固定されている事を確認して下さい。 <p>温度機器の抵抗を計ります。測定値が正しく無い場合には、モータを交換します。</p> <p>モータの温度スイッチの点検をします。：温度配線のプラグを抜きます。メーターを Ω に設定します。メーターは各モデルについての的確な抵抗を示すはずです。（下記の表を参照）。</p>  <table border="1" data-bbox="1149 955 1502 1302"> <thead> <tr> <th colspan="2">抵抗表：</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>695</td> <td>0 Ω</td> </tr> <tr> <td>795</td> <td>2k Ω</td> </tr> <tr> <td>1095</td> <td>3.9k Ω</td> </tr> <tr> <td>1595</td> <td>6.2k Ω</td> </tr> <tr> <td>マーク IV</td> <td>2k Ω</td> </tr> <tr> <td>マーク V 120V</td> <td>6.2k Ω</td> </tr> <tr> <td>マーク V 240V</td> <td>3.9k Ω</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 3. 温度機器コネクタを制御ボードのソケットに再び接続して下さい。電源を入れ、スプレー装置をオンにし、コントロール・ノブを時計回りに 1/2 回転させて下さい。スプレー装置が作動しない場合には制御ボードを交換します。 	抵抗表：		695	0 Ω	795	2k Ω	1095	3.9k Ω	1595	6.2k Ω	マーク IV	2k Ω	マーク V 120V	6.2k Ω	マーク V 240V	3.9k Ω
抵抗表：																		
695	0 Ω																	
795	2k Ω																	
1095	3.9k Ω																	
1595	6.2k Ω																	
マーク IV	2k Ω																	
マーク V 120V	6.2k Ω																	
マーク V 240V	3.9k Ω																	
スプレー装置が全く作動しない デジタル表示が E=09 を示す  制御ボードのステータスライトが連続して 9 回点滅する	接続の点検をします。制御はモータ位置センサーの信号を受信していない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源を OFF にします。 2. モータ位置センサーを外して、コネクタの破損を点検します。 3. センサーを再び接続します。 4. 電源をオンにします。エラーが続く場合には、モータを交換して下さい。 																

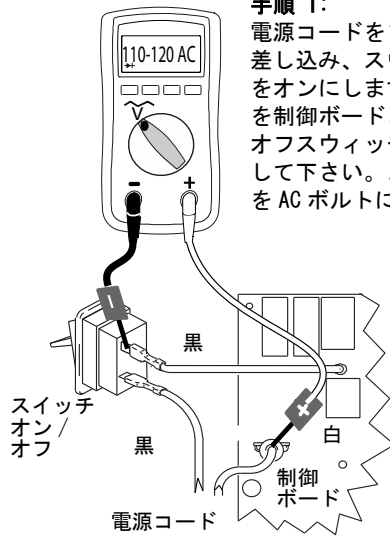
スプレー装置が作動しない
(次のページの手順をご参照下さい)



モータ
のリー
ド線

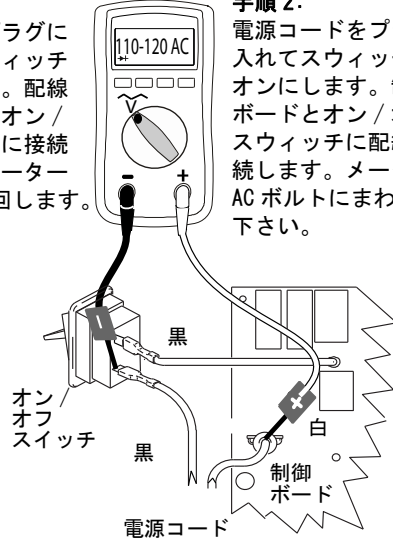
手順 1:

電源コードをプラグに差し込み、スイッチをオンにします。配線を制御ボードとオン/オフスイッチに接続して下さい。メーターをACボルトに回します。



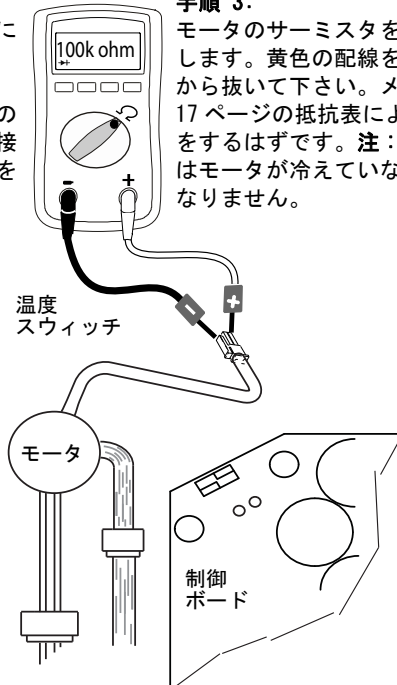
手順 2:

電源コードをプラグに入れてスイッチをオンにします。制御ボードとオン/オフのスイッチに配線を接続します。メーターをACボルトにまわして下さい。



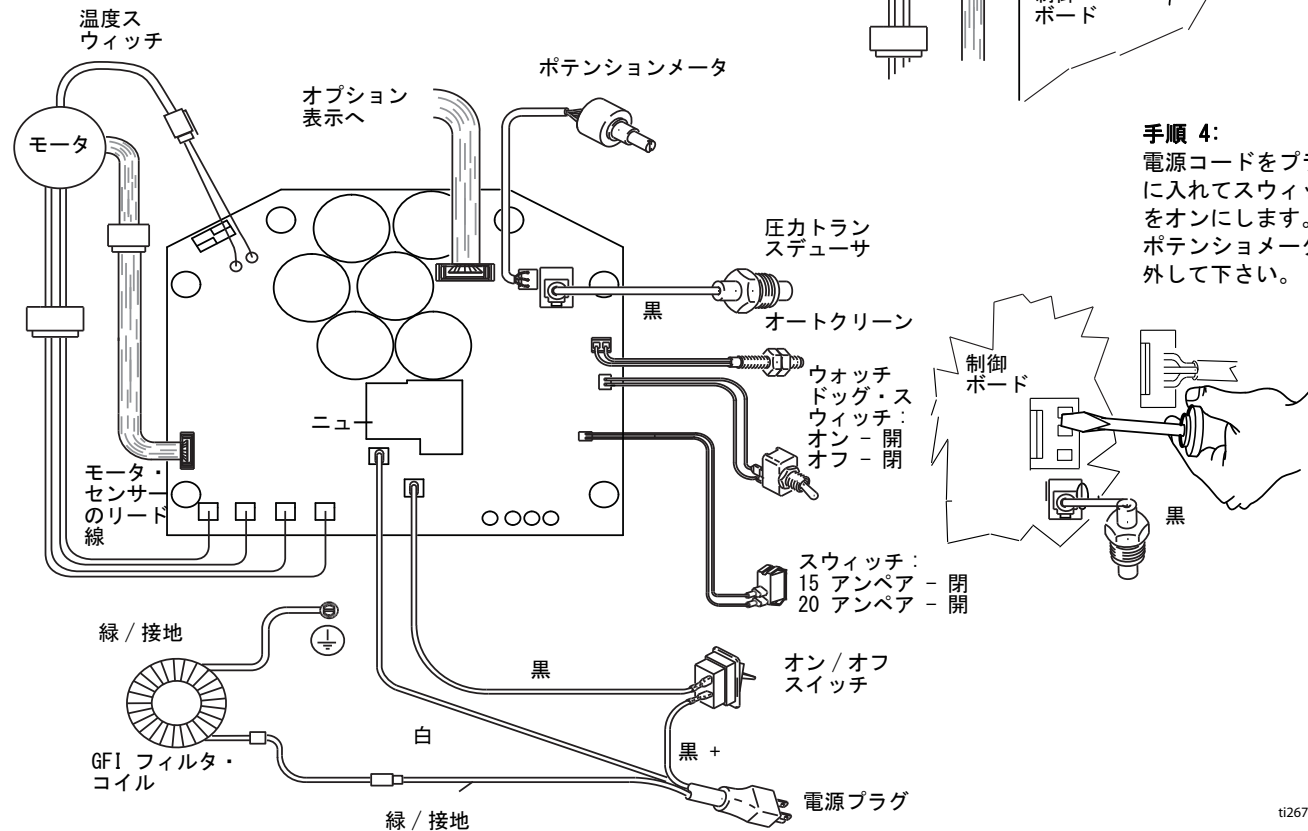
手順 3:

モーターのサーミスタを点検します。黄色の配線をプラグから抜いて下さい。メーターは17ページの抵抗表による表示をするはずですが。注：表示中はモーターが冷えていなければなりません。



手順 4:

電源コードをプラグに入れてスイッチをオンにします。ポテンシオメータを外して下さい。



ti26798a

240 VAC 及び 110 VAC モータ制御ボード

取り外し

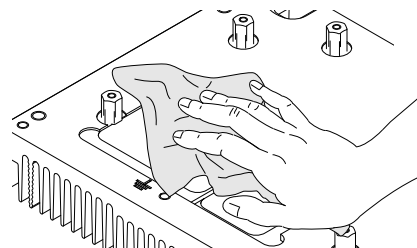


8 ページの圧力解放手順を実行して下さい。
使用前に5分間待ってください。

1. モータシュラウド（ホース・リール装備のユニット用のみ）を外して下さい：
 - a. モータシュラウドからボルトを抜きます。
 - b. スプレー装置から圧力チューブを外します。
 - c. 工具箱の下のネジを外します。
 - d. シェルフの四本のナットを緩めて下さい（しかし抜かない）。注意深くシェルフを前にずらします。
 - e. シュラウドを外します。
 - f. シェルフを押し戻して、シェルフの四本のナットを締めます。
2. ネジ (38) 4 本およびカバー (96) を取り外します。
3. モータ制御ボード (52) から表示コネクタ (A) を外します。
4. 下のネジ (39) 2 本を取り外します。ポテンシオメータ・コネクタ (C) をモータ制御ボード (52) から外します。電源コード・コネクタ (D) to フィルタボード・コネクタ (J) をオン／オフ・スイッチ (33) から外し、制御パネル (68) を取り外します。
5. モータ制御ボードからウォッチドッグ・スイッチ・コネクタ (X) 及びリード・スイッチ (L) を外して下さい。
6. モータ制御ボード電源コネクタ (K) をフィルタボード (146) から外します。
7. 上のネジ (39) 2 本とコントロールボックス (61) を取り外します。
8. トランスデューサ・コネクタ (E) をモータ制御ボードから外します。
9. モータ・コネクタを切断します (F, G 及び H)。
10. ネジ (27) 六本、ネジ (102) 二本と制御ボードから取り外します。

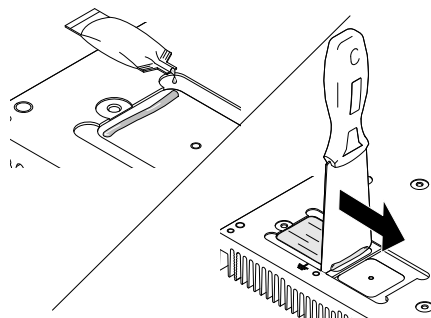
設置

1. 電源バーのポケットの熱伝導ペーストを完全に取り除く為にアセトンもしくは同等のクリーナーを使用して下さい。



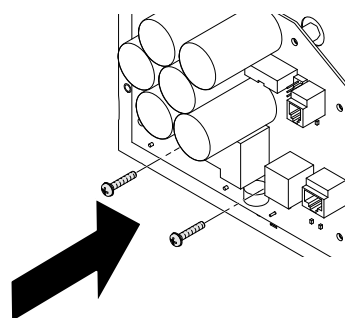
ti14695a

2. 新しい熱伝導ペーストを電源バーの両ポケットに塗布します。



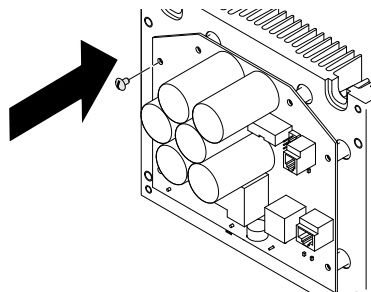
ti14693a

3. 制御ボードに二本の内部ネジを戻し、17 インチ / ポンド (1 N·m) のトルクをかけます。



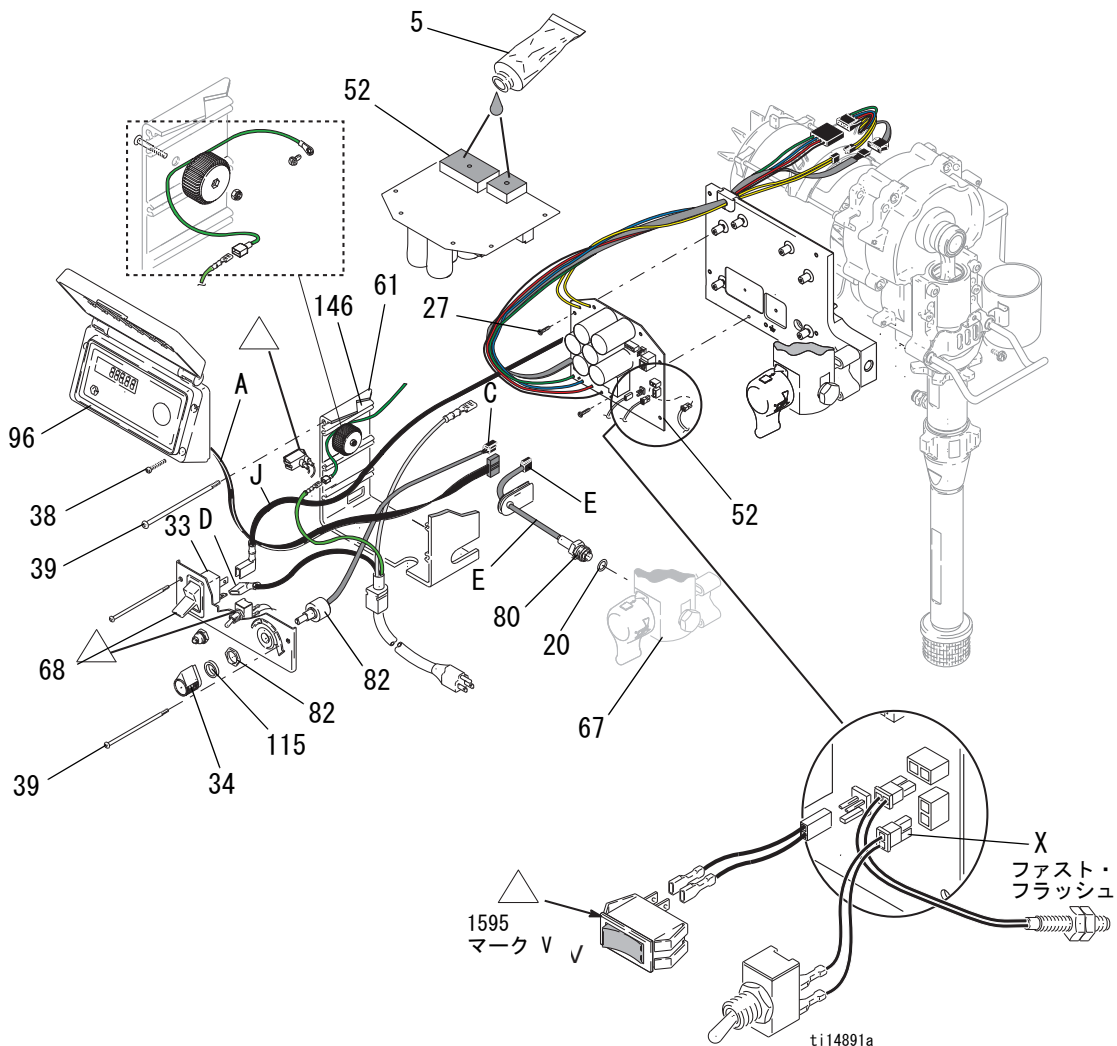
ti14696a

4. 制御ボードに六本の外部ネジを戻し、11 インチ / ポンド (1.25 N·m) のトルクをかけます。



ti14697a

5. DIP スイッチを左に移動させます (ボードの内部に向けて)。40 ページの配線図を参照。
6. モータ・コネクタ (F、G、H) を接続して、パッフルに設置します。
7. トランスデューサ・コネクタ (E) をモータ制御ボードに接続してください。
8. モータ制御ボード電源コネクタをフィルタボード (146) に接続します。
9. コントロールボックス (61) を上のネジ (39) 2 本で設置します。
10. フィルタボード・コネクタ (J) と電源コード・コネクタ (D) をオン/オフ・スイッチ (33) に接続します。
11. ポテンショメータ・コネクタ (C) をモータ制御ボードに接続します。
12. ウォッチドッグ・スイッチ (X) 及びリード・スイッチ・コネクタ (L) をモータ制御ボードに接続します。
13. 制御パネル (68) をネジ (39) 2 本で設置します。
14. 表示コネクタ (A) をモータ制御ボード (52) に接続します。
15. カバー (96) をネジ (38) 四本で設置します。
16. **モータシュラウド**を設置します。
(ホース・リールを装備したユニット用のみ):
 - a. シェルフの四本のナットを緩め (しかし抜かない)、シェルフを前にスライドさせます。
 - b. シュラウドを元に戻します。
 - c. シェルフを押し戻して、シェルフの四本のナットを締めます。
 - d. ツール・ボックスの下のネジを戻して締めます。
 - e. スプレー装置の圧力チューブを戻します。
 - f. モータシュラウドのボルトを戻します。



240 VAC フィルタ・ボード



8 頁の圧力解放手順 の実行。

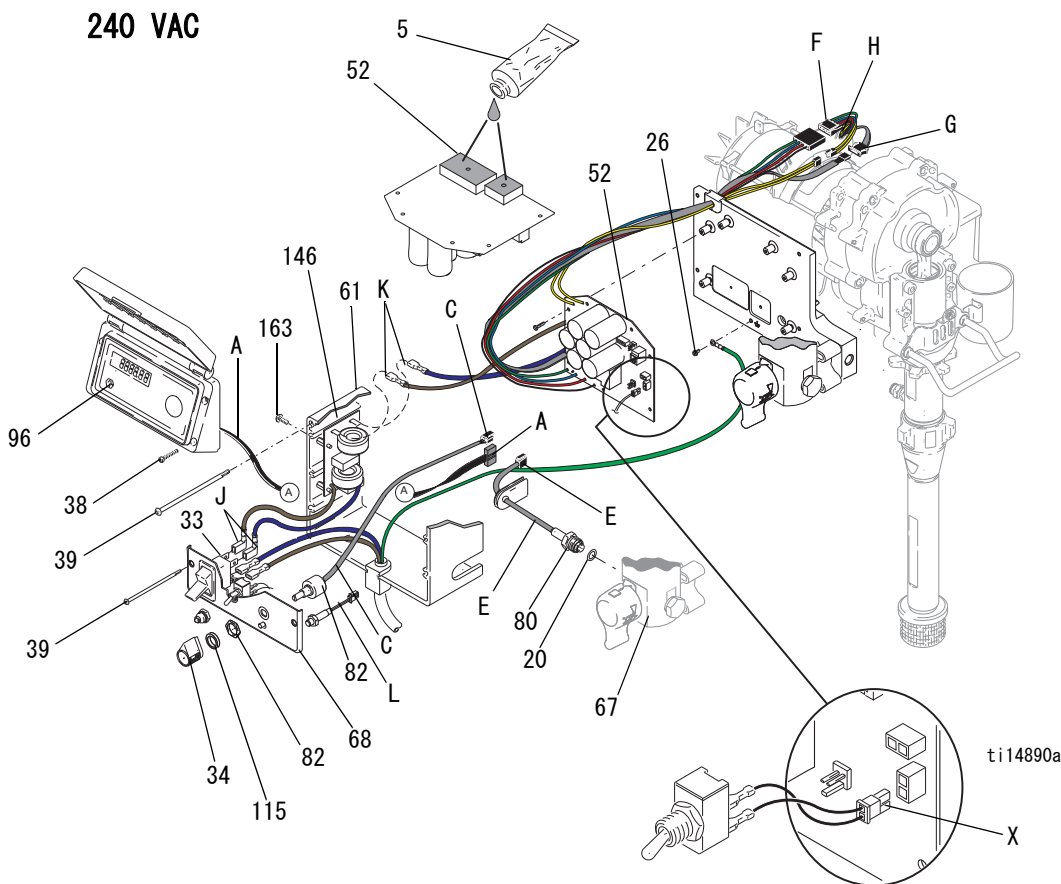
取り外し

1. ネジ (38) 4 本およびカバー (96) を取り外します。
2. モータ制御ボード (52) から表示コネクタ (A) を外します。
3. 下のネジ (39) 2 本を取り外します。ポテンショメータ・コネクタ (C) をモータ制御ボード (52) から外します。電源コード・コネクタ (D) to フィルタボード・コネクタ (J) をオン/オフ・スイッチ (33) から外し、制御パネル (68) を取り外します。
4. モータ制御ボードからウォッチドッグ・スイッチ・コネクタ (X) 及びリード・スイッチ (L) を外して下さい。
5. モータ制御ボード電源コネクタ (K) をフィルタボード (146) から外します。

6. 4 本のネジ (163) をフィルタボード (146) から外します。

設置

1. フィルタボード (146) をネジ (163) 4 本で設置します。
2. モータ制御ボード電源コネクタをフィルタボード (146) に接続します。
3. フィルタボード電源コネクタ (J) をオン/オフ・スイッチ (33) の上にあるターミナル 2 つに、電源コード・コネクタ (D) をオン/オフ・スイッチの下にあるのターミナルに接続します。
4. ポテンショメータ・コネクタ (C) をモータ制御ボード (52) に接続します。
5. ウォッチドッグ・スイッチ (X) 及びリード・スイッチ・コネクタ (L) をモータ制御ボードに接続します。
6. 制御パネル (68) をネジ (39) 2 本で設置します。
7. 表示コネクタ (A) をモータ制御ボード (52) に接続します。
8. カバー (96) をネジ (38) 4 本で設置します。



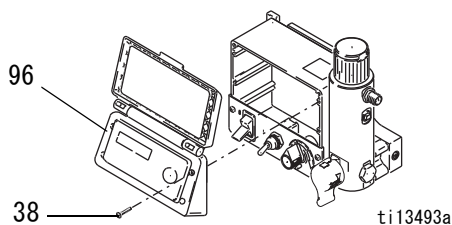
圧力調節ポテンシオメータ

取り外し



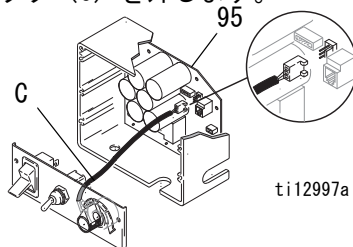
8 ページの圧力解放手順を実行して下さい。
使用前に5分間待ってください。

1. ネジ (38) 4 本およびカバー (96) を取り外します。

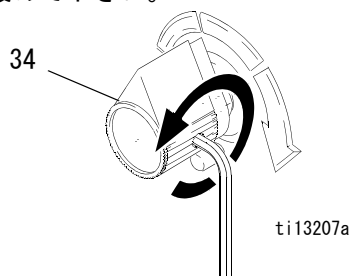


2. 二本のネジおよび制御ボードを取り外します。

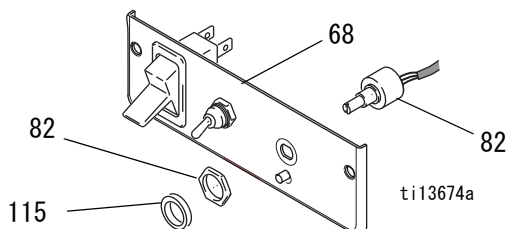
3. モータ制御ボード (95) からポテンシオメータ・コネクタ (C) を外します。



4. アレン・レンチを使用してノブ (34) の二本のネジを緩めて下さい。

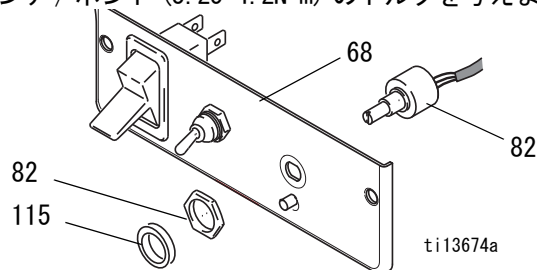


5. ガasket (115)、ナット、ポテンシオメータ (82) を制御パネル (68) から取り外します。

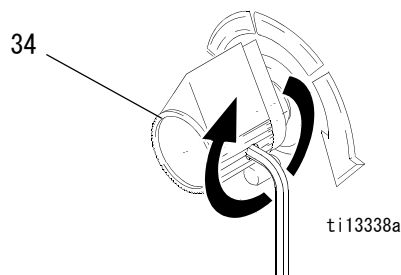


設置

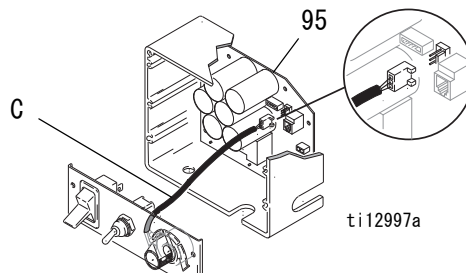
1. ガasket (115)、ナット、ポテンシオメータ (82) を制御パネル (68) に設置します。ナットに 30 - 35 インチ / ポンド (3.25-4.2N·m) のトルクを与えます。



2. 新しいポテンシオメータの軸を最高圧力設定に (時計回りに完全に) まわして、ノブ (34) を設置して下さい。アレン・レンチを用いてノブの二本のネジを締めます。

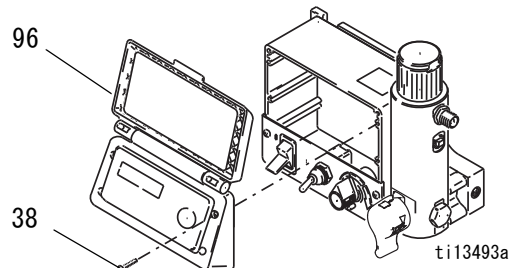


3. ポテンシオメータ・コネクタ (C) をモータ制御ボードに接続します。



4. 制御パネルを設置し、ネジ二本を締めます。

5. カバー (96) を4本のネジ (38) で設置します。



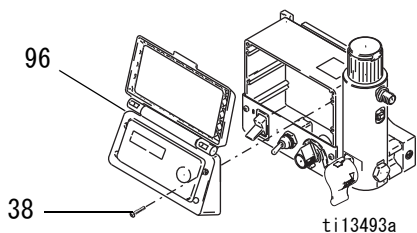
圧力コントロールトランスデューサ

取り外し

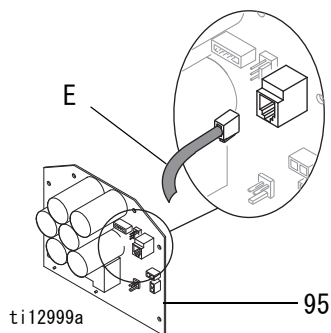


8ページの圧力解放手順を実行して下さい。
使用前に5分間待つて下さい。

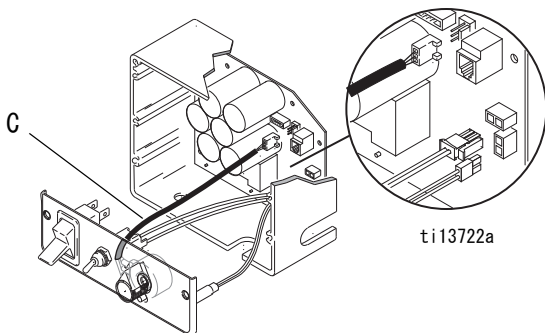
1. ネジ (38) 4本およびカバー (96) を取り外します。



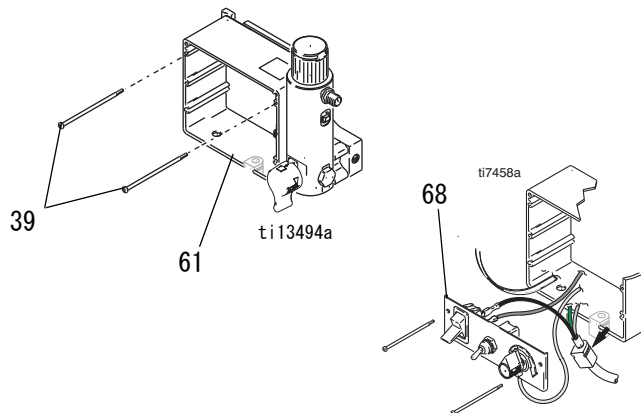
2. トランスデューサ・コネクタ (E) をモータ制御ボード (95) から外します。



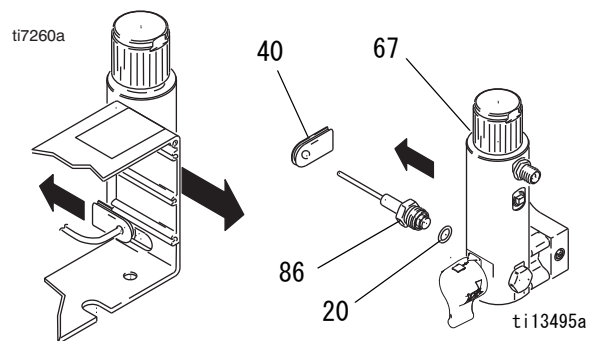
3. ポテンシオメータ・コネクタ (C)、ウォッチドッグ・スイッチ及びリード・スイッチ・コネクタをモータ制御ボードから外します。



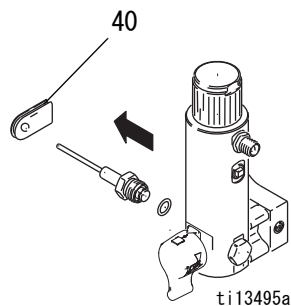
4. ネジ (39) 4本とコントロールボックス (61) を外します。制御パネル (68) がゆったりと垂れ下がるようにします。



5. パッキング (40) をコントロールボックスから、トランスデューサ (86) と Oリング (20) をフィルタベース (67) から取り外します。

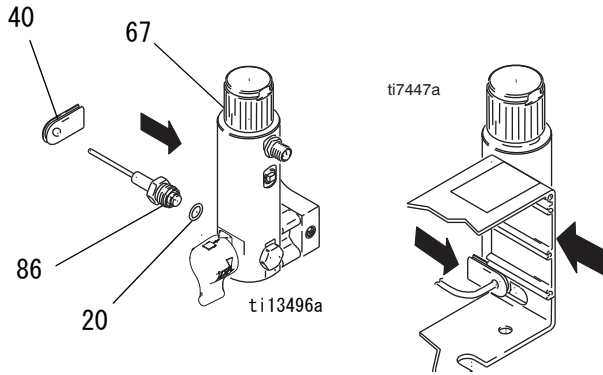


6. トランスデューサからパッキング (40) を外し、再び使うために保管します。

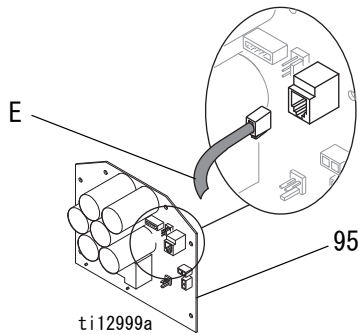


設置

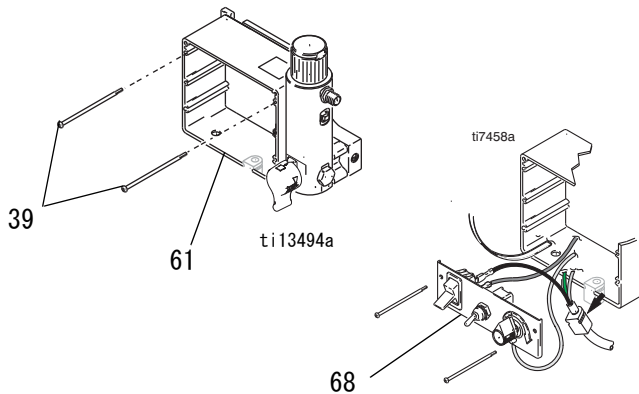
1. Oリング (20) とトランスデューサ (86) をフィルタベース (67) に設置します。35-45 フィート・ポンド (47-61 N·m) のトルクを与えます。パッキングをトランスデューサ (86) に、トランスデューサをコントロールボックスに設置します。



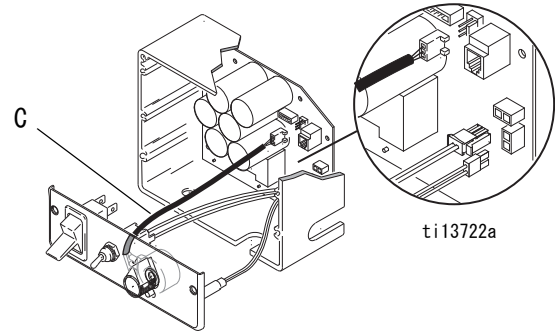
2. トランスデューサ・コネクタ (E)、ウォッチドッグ・スイッチとリード・コネクタを制御ボード (95) に接続します。



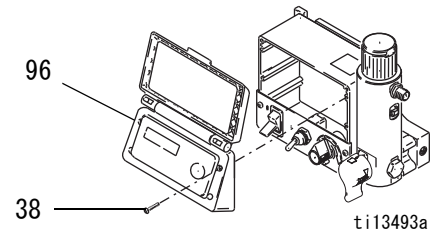
3. コントロールボックス (61) と制御パネル (68) を4本のネジ (39) で設置します。



4. ポテンショメータ・コネクタ (C)、ウォッチドッグ・スイッチとリード・スイッチ・コネクタを制御ボードに接続します。



5. カバー (96) を4本のネジ (38) で設置します。



ドライブ及びベアリングのハウジングの交換

注

ドライブハウジング (90) 取り外し中にギヤクラスタ (89) を落とさないで下さい。ギヤクラスタは モータ 全面終端ベルまたはドライブハウジング取り付けられています。

分解



8 頁の圧力解放手順 の実行。

1. ネジ (31)、ナット (24) 2 本、パール・ハンガー (55) とポンプロッド・カバー (108) を取り外します。
2. ポンプ (91) を外します。**置換えポンプ交換**、32 ページ (695/795) 34 ページ (1095/1595/Mark V) を参照のこと。

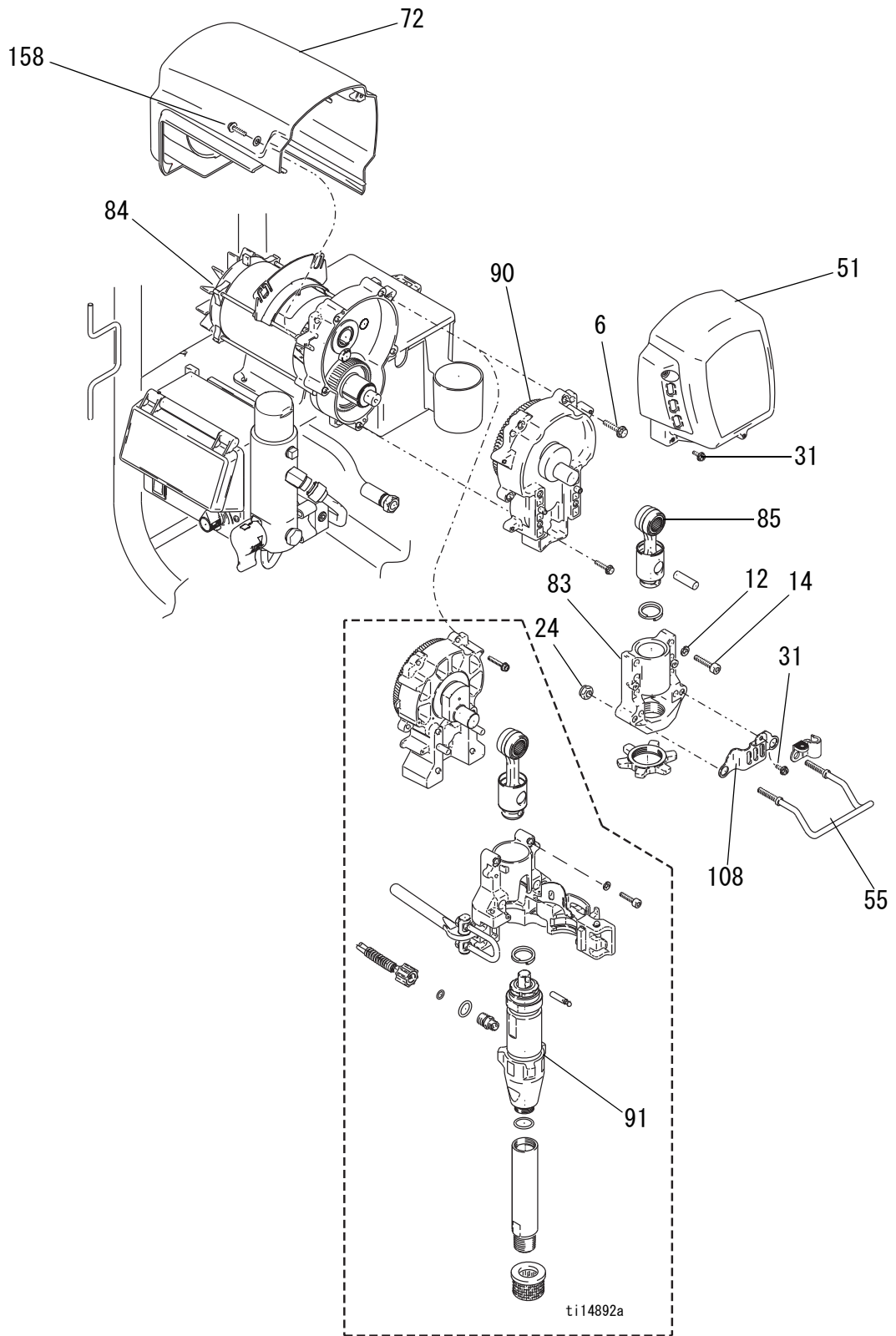
3. 2 本のネジ (158) およびシュラウド (72) を取り外します。
4. 4 本のネジ (31) およびフロントカバー (51) を外します。
5. ベアリングハウジング (83) と接続ロッド (85) を外すために、ネジ (14) 4 本とワッシャ (12) を取り外します。
6. ネジ (6) 5 本を外し、駆動ハウジング (90) をモータ (84) から取り外します

組付

ギア (89) とスラストワッシャ (28、30、90a、36; 29 ページを参照のこと) が固定されているのを確実にします。ギアの歯にグリースをブラシで塗ります。

1. ドライブハウジング (90) をモータ (84) に押し込み、ネジ (6) 5 本で設置します。190-210 インチ-ポンド (21-23 N·m) のトルクを与えます。
2. ベアリングハウジング (83) をネジ (14) 4 本とワッシャ (12) で取り付けます。25-30 フィート-ポンド (34-40 N·m) のトルクを与えます。
3. フロント・カバー (51) を 4 本のネジ (31) で設置します。
4. 2 本のネジ (158) で覆い (72) を取り付けます。
5. ポンプ (91) を設置します。**置換えポンプ交換**、32 (695/795) 34 ページ (1095/1595/Mark V) を参照のこと。
6. ポンプロッド・カバー (108) とパール・ハンガー (55) をネジ (31) とナット (24) 2 本で設置します。

ドライブとベアリングのハウジングの交換



モータの交換

取り外し



8 頁の圧力解放手順 の実行。

1. ポンプ (91) を外します。**置換えポンプ交換**、32 ページ (695/795) 34 ページ (1095/1595/マーク V) を参照のこと。

注

ドライブハウジング (90) 取り外し中にギヤクラスタ (89) を落とさないで下さい。ギヤクラスタは モータ全面終端ベルまたはドライブハウジング取り付けられています。

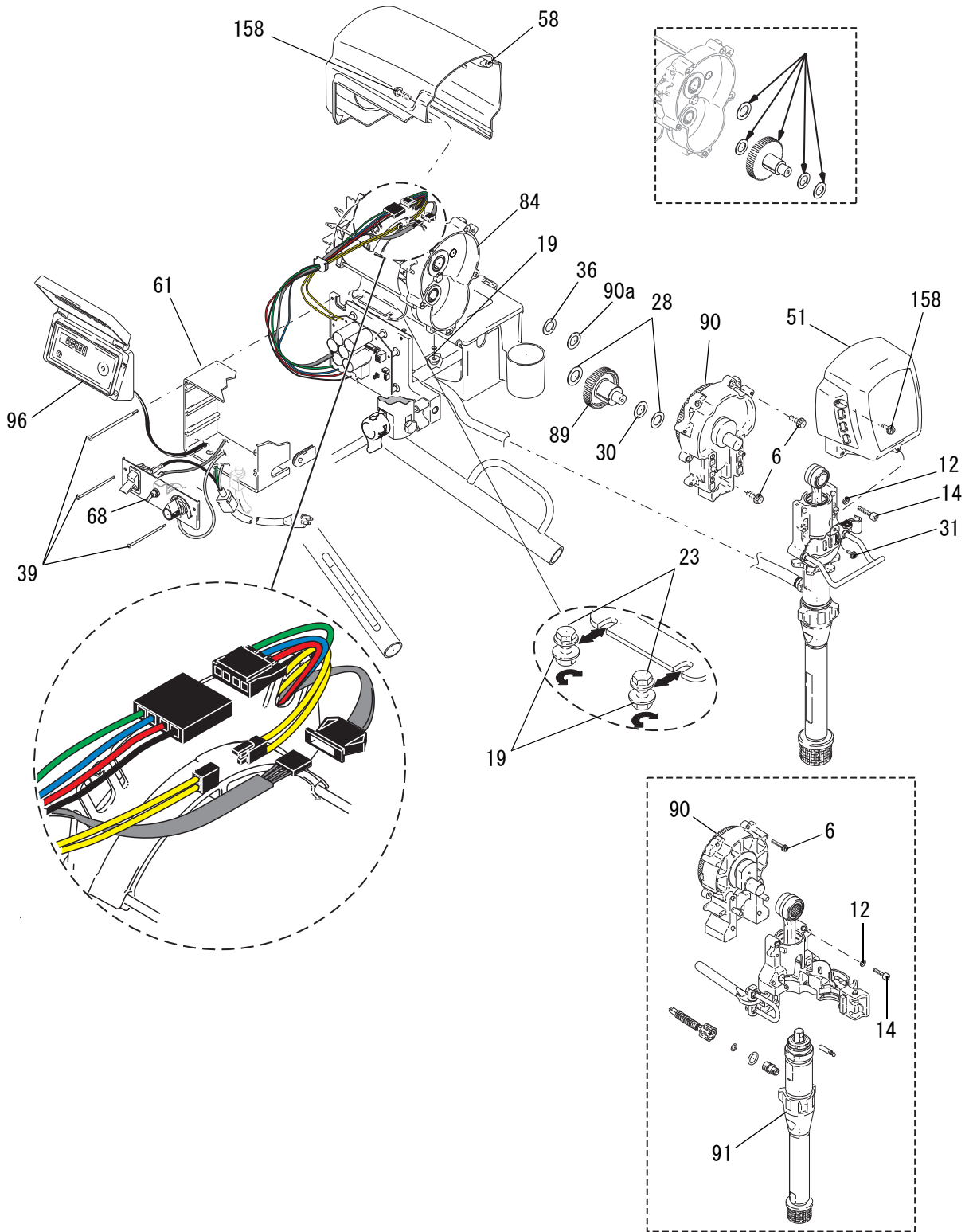
2. ドライブハウジング (90) ; **ドライブハウジングの交換**、28 ページを参照のこと。
 1. モータシュラウドを外します。
 - a. モータシュラウドからボルトを抜きます。
 - b. スプレー装置から圧力チューブを外します。
 - c. 工具箱の下のネジを外します。
 - d. シェルフの四本のナットを緩めて下さい (しかし抜かない)。注意深くシェルフを前にずらしします。
 - e. シュラウドを外します。
 2. シェルフを押し戻して、シェルフの四本のナットを締めます。
 3. 4 本のネジ (38) とコントロールカバー (96) を取り外します。
 4. 底にあるネジ (39) を取り外して、制御パネル (68) がゆったりとたれ下がるようにします。
 5. 三つの全モータ・コネクタをモータから外します。
 6. 上のネジ (39) 2 本およびコントロールハウジング (61) を外します。
 7. 緊張レリーフ (29) をモータ・ワイヤと電源バー・プレート (69) から取り外します。
 8. モータ配線をバッフル 278075 から取り外します。

9. コントロールの反対側にあるネジ (23) 2 本とナット (19) を取り外します。
10. コントロールに近い側にあるナット (19) を緩め、モータ (84) をカート枠 (62) から取り外します。

設置

1. コントロールの近くにあるカート枠 (62) にあるネジ (23) 2 本の下に、新しいモータ (84) を滑り込ませます。
2. コントロールの反対側にあるモータにネジ (23) 2 本とナット (19) を取り付けます。
3. バッフルを設置してモータ配線を接続します。
4. ネジ (23) の 4 本とナット (19) の全てを締めます。ナットは 115-135 インチ・ポンド (13-15 N·m) までトルクを与えます。
5. 緊張レリーフ (29) をモータ・ワイヤと電源バー・プレート (69) に取り付けます。
6. 上のネジ (39) 2 本でコントロールハウジング (61) を取り付けます。
7. 全てのモータ・コネクタ三つを、モータに接続します。
8. 制御パネル (68) をネジ (39) 2 本で設置します。
9. コントロールカバー (96) を 4 本のネジ (38) で設置します。
10. **ドライブハウジング (90) ; ドライブハウジングの交換**、28 ページを参照のこと。
11. ポンプ (91) を設置します。**置換えポンプ交換**、32 (695/795) 34 ページ (1095/1595/Mark V) を参照のこと。
12. **モータシュラウド**を設置します。
 - a. シェルフの四本のナットを緩め (しかし抜かない)、シェルフを前にスライドさせます。
 - b. シュラウドを元に戻します。
 - c. シェルフを押し戻して、シェルフの四本のナットを締めます。
 - d. ツール・ボックスの下のネジを戻して締めます。
 - e. スプレー装置の圧力チューブを戻します。
 - f. モータシュラウドのボルトを戻します。

モータの交換



ti14893a

695/795/Mark IVの置換えポンプ交換

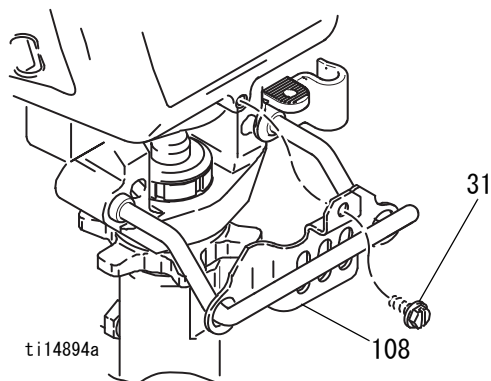
ポンプ修理の方法については、ポンプ取扱説明書 310643 または 310894 を参照してください。

適用できるスプレー部品番号については、取扱説明書 3A0158 を参照してください。

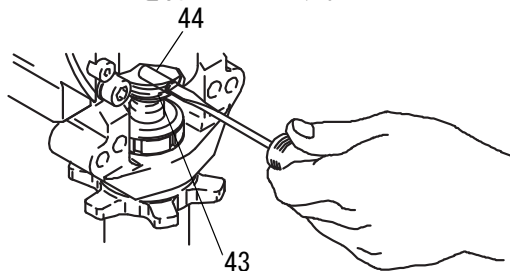
取り外し



1. ポンプを洗浄します。
2. 8 ページの圧力解放手順を実行して下さい。
3. ネジ (31) を取り外し、ポンプロッド・シールド (108) を前に滑らせます。

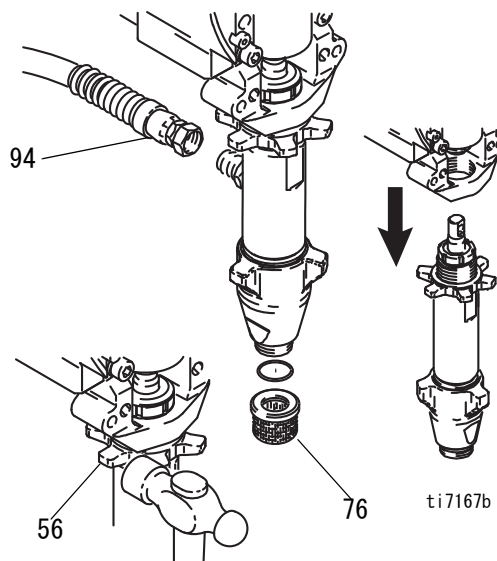


4. JOG モードでポンプをポンプピン (44) が取り外せる位置に来るまで回す為に圧力を少し上げます。電源スイッチをオフにして、電源コードをプラグから抜きます。保持リング (43) を押し上げて、ポンプ・ピンを押し出します。



5. 吸引管 (76)、ホース (94)、いかなるワッシャ、O リングも取り除きます。

6. ポンプ差し込みナット (56) を緩めます。ネジを外してポンプを外します。



設置

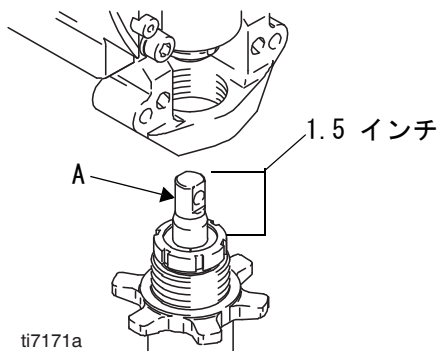


ポンプ・ピンが緩んだ場合、ポンプの動きによる部品の落下の可能性があります。部品が空中に飛び出すこともあり、人身事故や物損事故を招く恐れがあります。

注

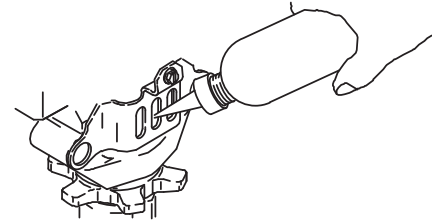
運転中ポンプの差し込みナットが緩むと、ドライブハウジングのスレッドが損傷します。

1. ポンプピストンロッドを 1.5 インチに伸ばします。ポンプロッドの上 (A) または接続ロッドの中にグリースを付けます。



2. ポンプピン (44) を設置します。保持スプリング (43) が接続ロッド (85) の溝に確実に入っていることを確認します。
3. ポンプを押し上げて、ポンプのネジ山を合わせます。
4. ネジ山がドライブハウジング開口部の上に接触するまでポンプをネジ込みます。ポンプの出口を後ろに合わせます。
5. ワッシャ、Oリング、吸引管 (76) とホース (94) を設置します。
6. 差し込みナットが回らなくなるまで、ポンプの差し込みナット (56) をネジで締めます。手で差し込みナットを締め、20 oz (maximum) ハンマーを使用して約 75 ±5 フィート・ポンド (102 N·m) のトルクで叩き、1/8 から 1/4 回転させます。
7. ネジ (31) でポンプロッドシールド (108) を取り付けます。

8. 液体がシールから溢れるまでパッキンナットに Graco TSL を注入します。



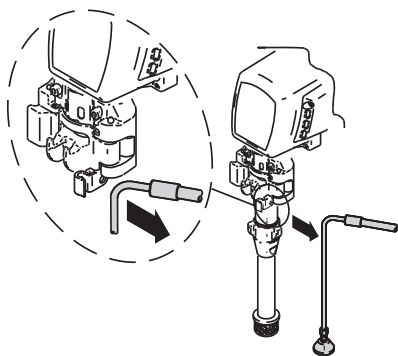
ti7169a

置換えポンプ交換 1095/1595/Mark V

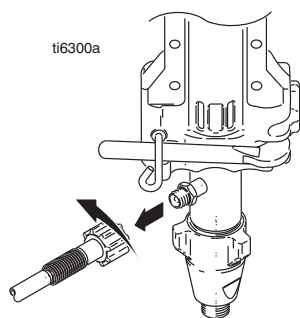
取り外し



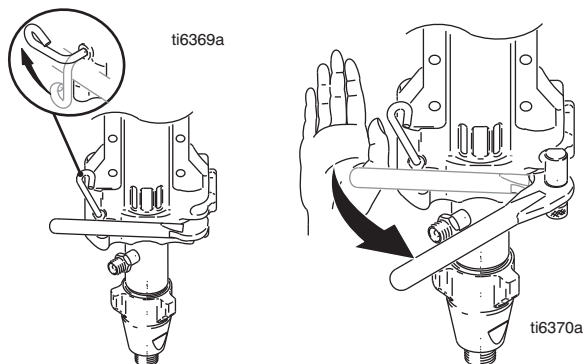
1. ポンプを洗浄します。
2. ピストンロッドが最低位置の状態ですべてのポンプを停止させます。
3. 8 ページの圧力解放手順の実行
4. スプレー装置からドレンホースを外します。



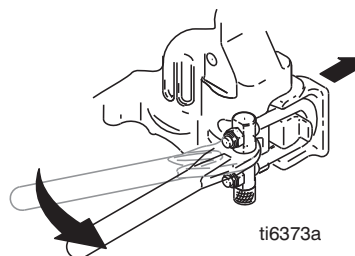
5. ポンプから塗料ホースを外します。



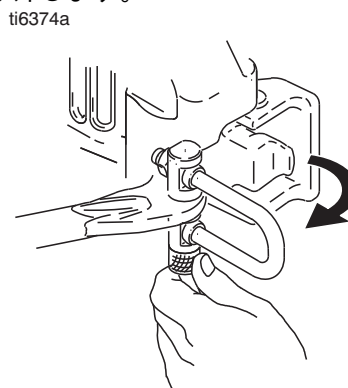
6. ラッチロックを上げます。ラッチオープンを押します。



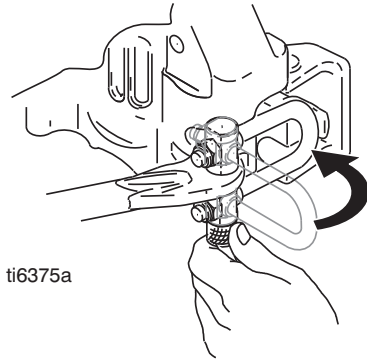
7. 開いたポンプドアを少しずつ上にあげます。
 - a. ポンプドアを少しずつ前方に上げます。



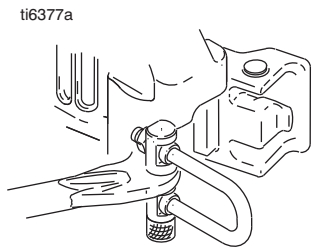
- b. ポンプドアの窪み部分からラッチ u- ボルトを回して外します。
- c. ポンプドアの外縁部分に u- ボルトを取り付けます。
- d. ポンプドアが動かない場合は、手順 e、f および 8 を実行します。動く場合は手順 9 に進みます。
- e. ポンプドアの外縁部分からラッチ u- ボルトを取り外します。



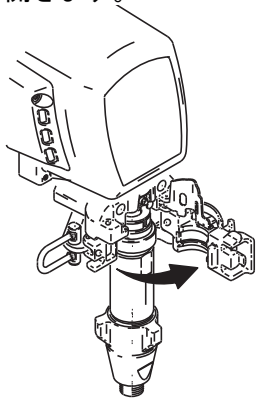
f. ポンプドアの突起部に u- ボルトを取り付けます。



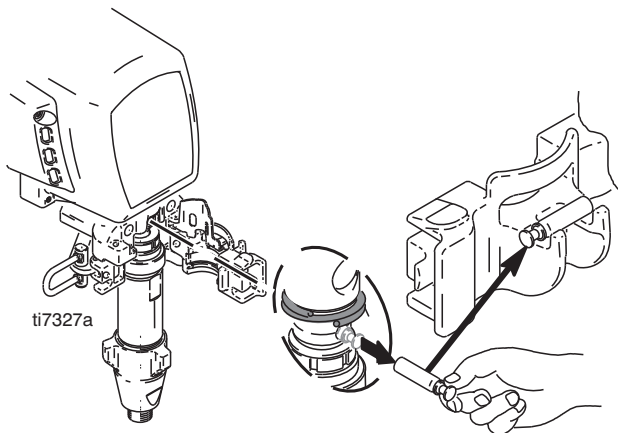
8. ポンプドアを少しづつ前方に上げます。



9. ポンプドアを開きます。

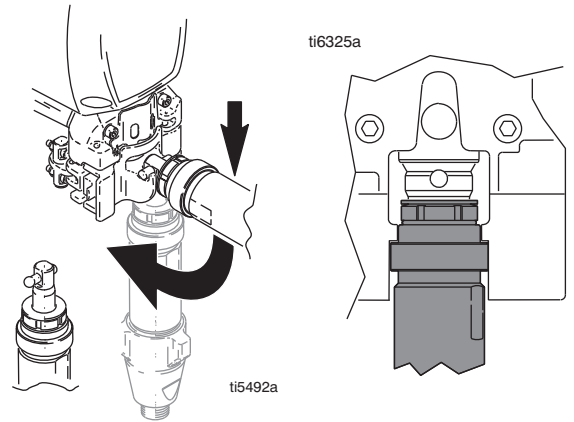


10. ポンプ・ピンを引き抜き、ピンホルダに差し込みます。

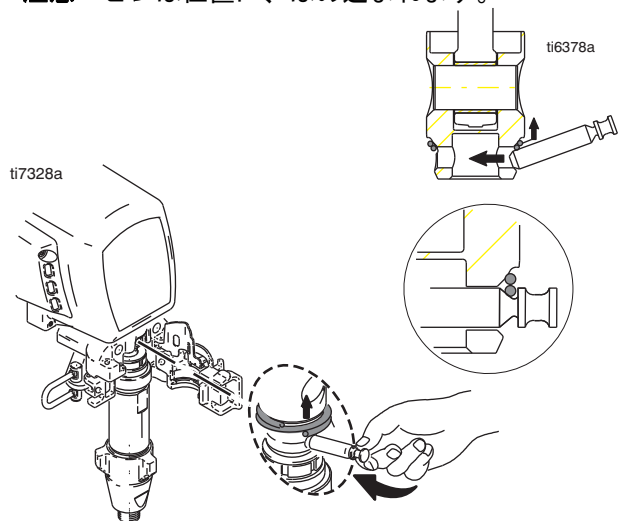


設置

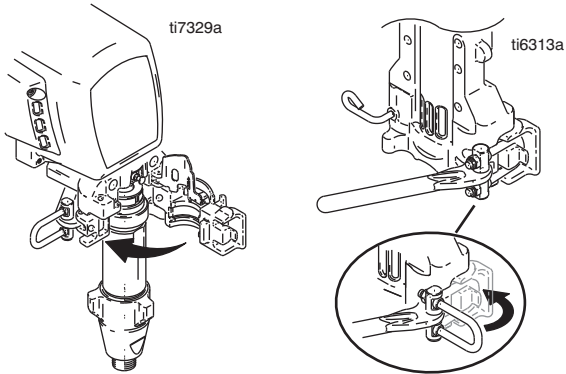
1. ピンホルダでピストンロッドを調節して、引き抜きます。ピストンロッドを塗装面で叩いて押し込みます。
2. ポンプカラーフラッシュをベアリングハウジングの突起部で押し、ポンプドアが閉まります。



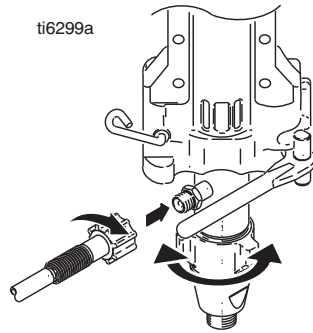
3. 接続用ロッドにポンプをスライドさせます。ポンプ・ピンが完全にはめ込まれるまで押します。
注意：ピンは位置に、はめ込まれます。



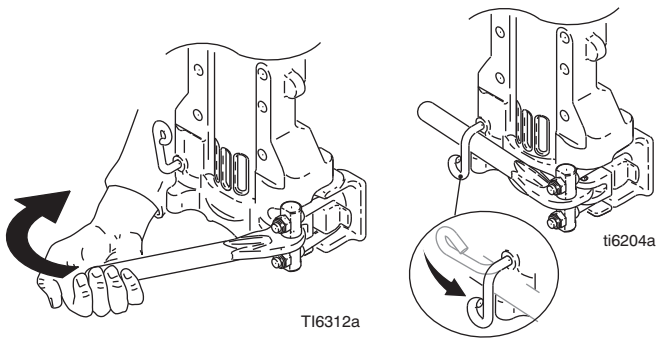
4. ポンプドアを閉じ、ラッチを回転させてねじ込みます。ラッチを締めないで下さい。



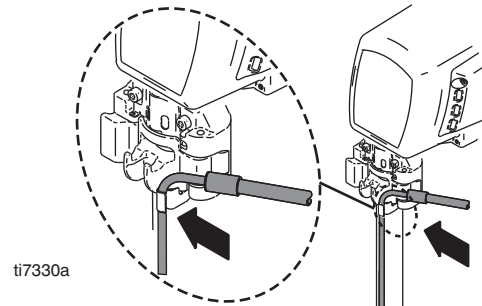
5. ポンプを回転させて塗料ホースと位置を揃えます。塗料ホースを接続し、手で締めます (70 in-lb のトルク)。



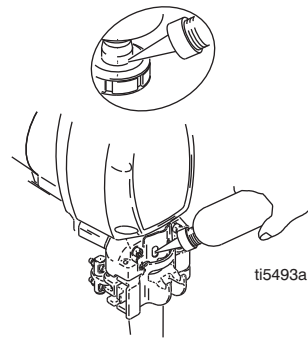
6. ラッチを締め、ラッチロックを回転させてロック位置にねじ込みます。



7. ドレンホースをスプレー装置に取り付けます。





8. 液体がシールから溢れるまで Graco TSL をポンプに注入します。

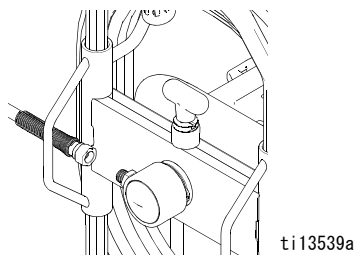


ホース・リール

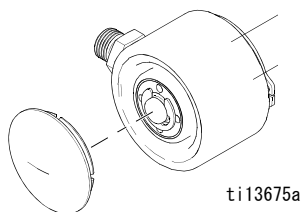
取り外し

							
<p>ホースを巻き上げ中は、頭がホース・リールに近づかない様にご注意下さい</p>							

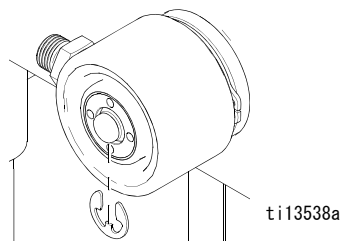
1. スウィベル・キャップよりホース金具を取り外して、ホースを完全に取り外します。



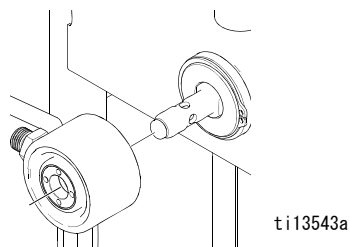
2. スウィベルからキャップを取り外します。



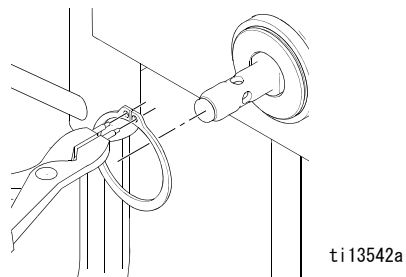
3. スウィベル軸からE-クリップを取り外します。



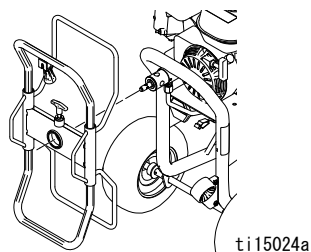
4. スウィベルを取り外します。



5. スナップ・リングを取り外します。

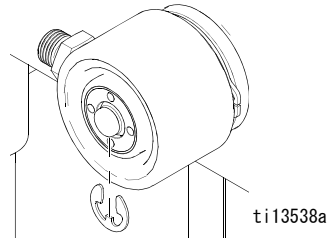
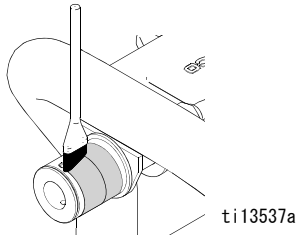


6. ホース・リールを取り外します。

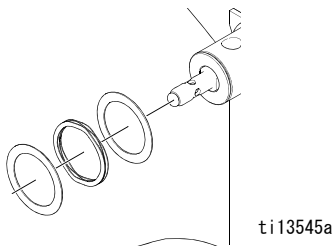


設置

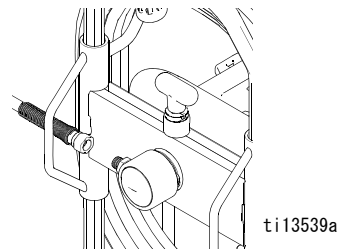
1. シャフトをグリスします。



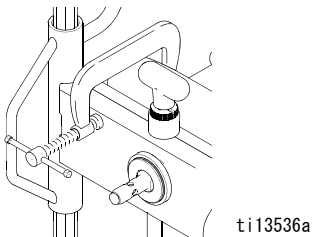
2. ホース・リールの設置前に、二個のワッシャとウェーブ・スプリングがハブに付いている事を確認して下さい。



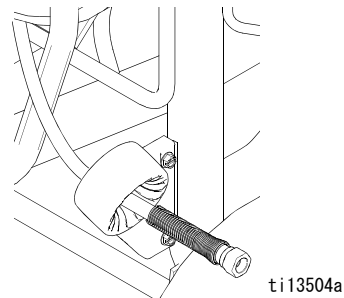
6. スウィベルにホースを設置します。ホースがホース・リールのサイド・アームを通っている事を確認して下さい。



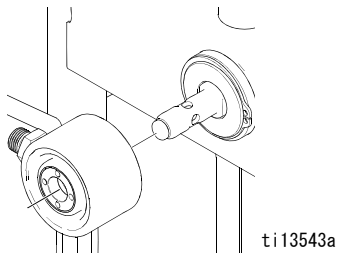
3. 枠にホース・リールを設置します。リール及び枠に G-クランプを置き、スナップ・リングが定位置に嵌るようにします。



7. ホースを巻き込む為にホース・リールを時計回りにまわします。ホースがホース・ガイドを通っている事を確認して下さい。



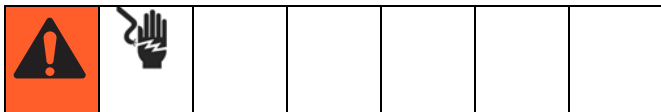
4. スウィベルを設置します。



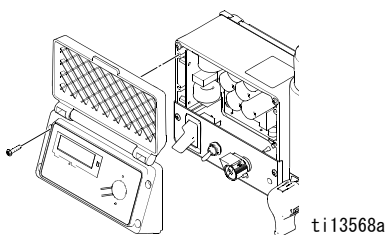
5. E-クリップ及びスウィベル・キャップを設置します。

リード・スイッチの交換

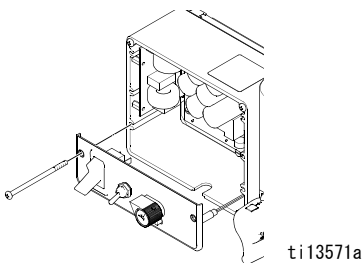
取り外し



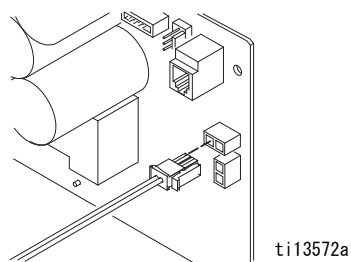
1. 四本のネジとディスプレイ・カバーを外します。



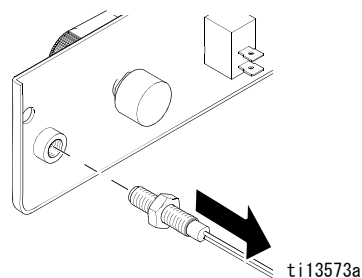
2. 二本のネジを外して、制御パネルを外します。



3. 制御ボードからリード・スイッチのプラグを抜きます。

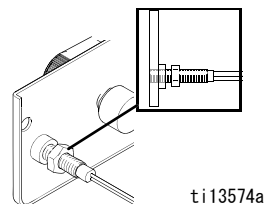


4. ネジを外して、リード・スイッチを制御ボードから外します。

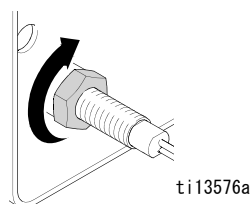


設置

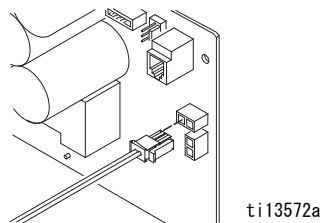
1. ネジ・シーラントをリード・スイッチの端に塗布します。制御パネルに固く固定されるまで、リード・スイッチを手で締めます。



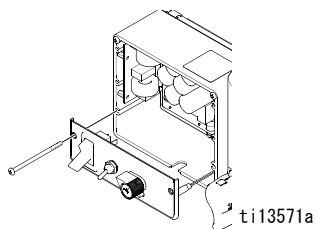
2. ネジ・シーラントを足して、差し込みナットをネジ付きの母線に締めます。



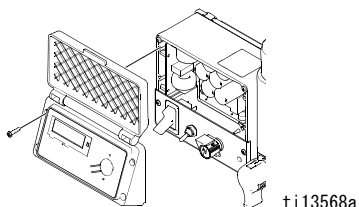
3. リード・スイッチを制御ボードに接続します。



4. 制御ボードを戻して、二本のネジを締めます。

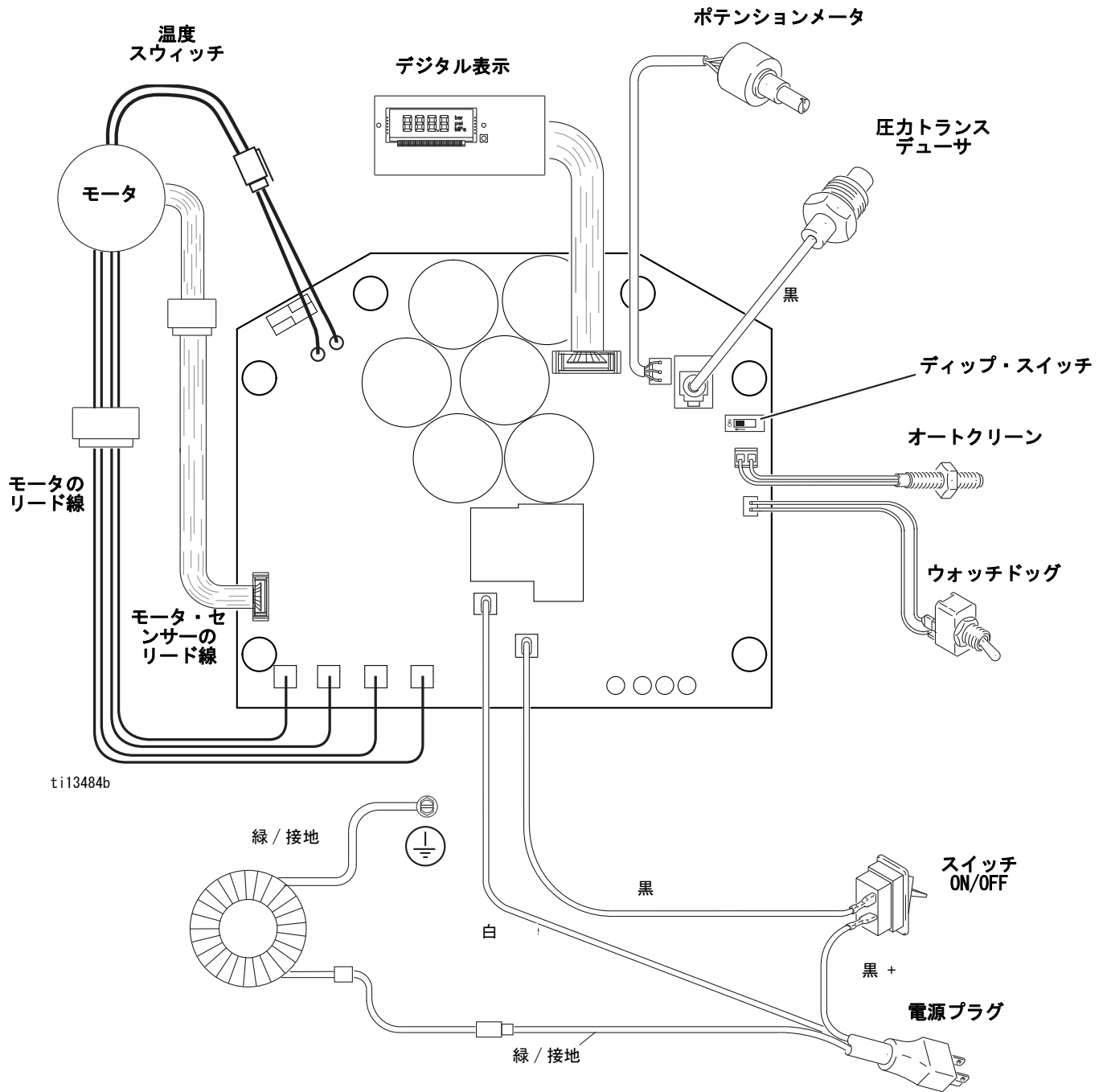


5. ディスプレイ・カバーを戻して、四本のネジを締めます。

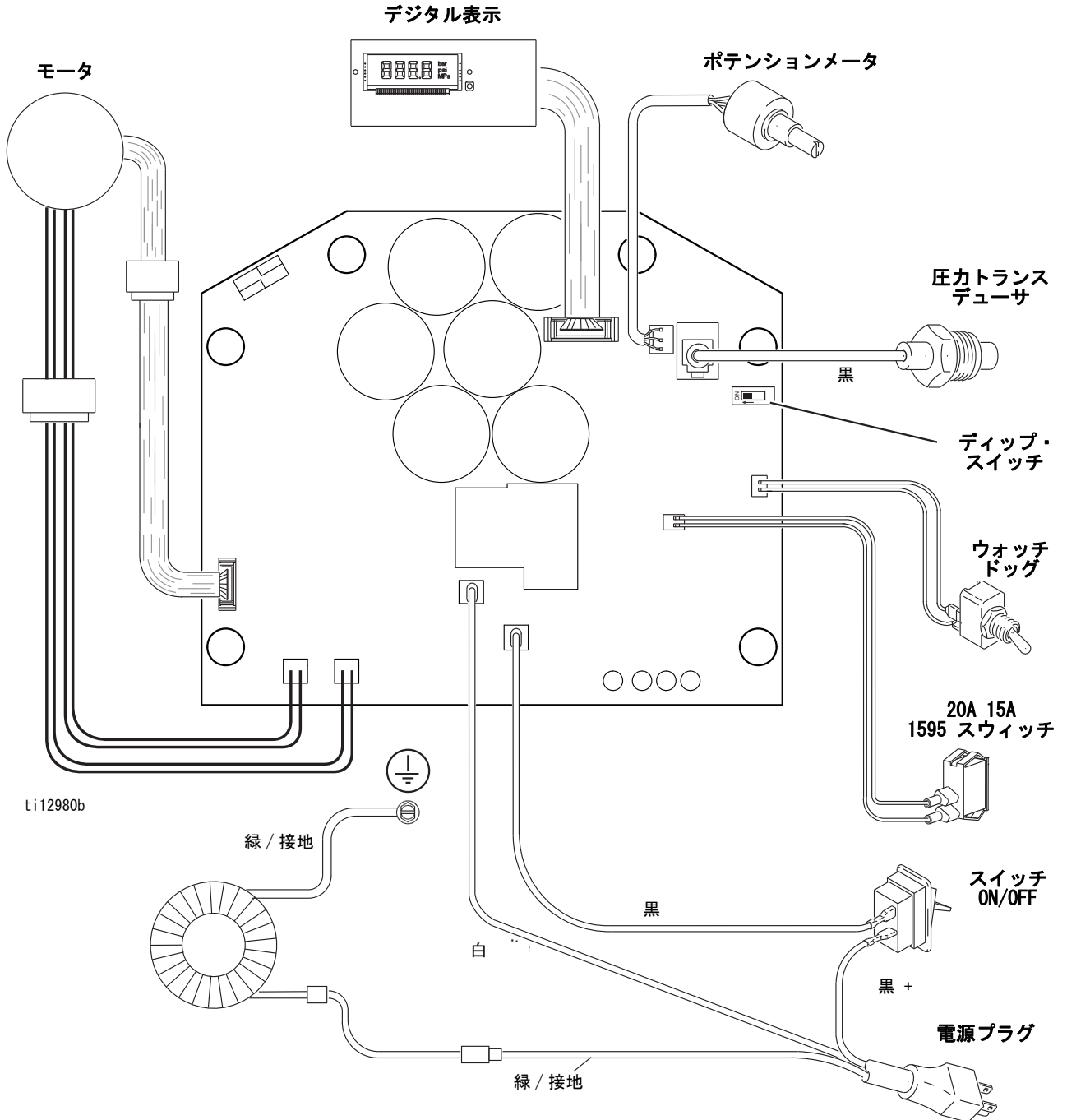


配線図

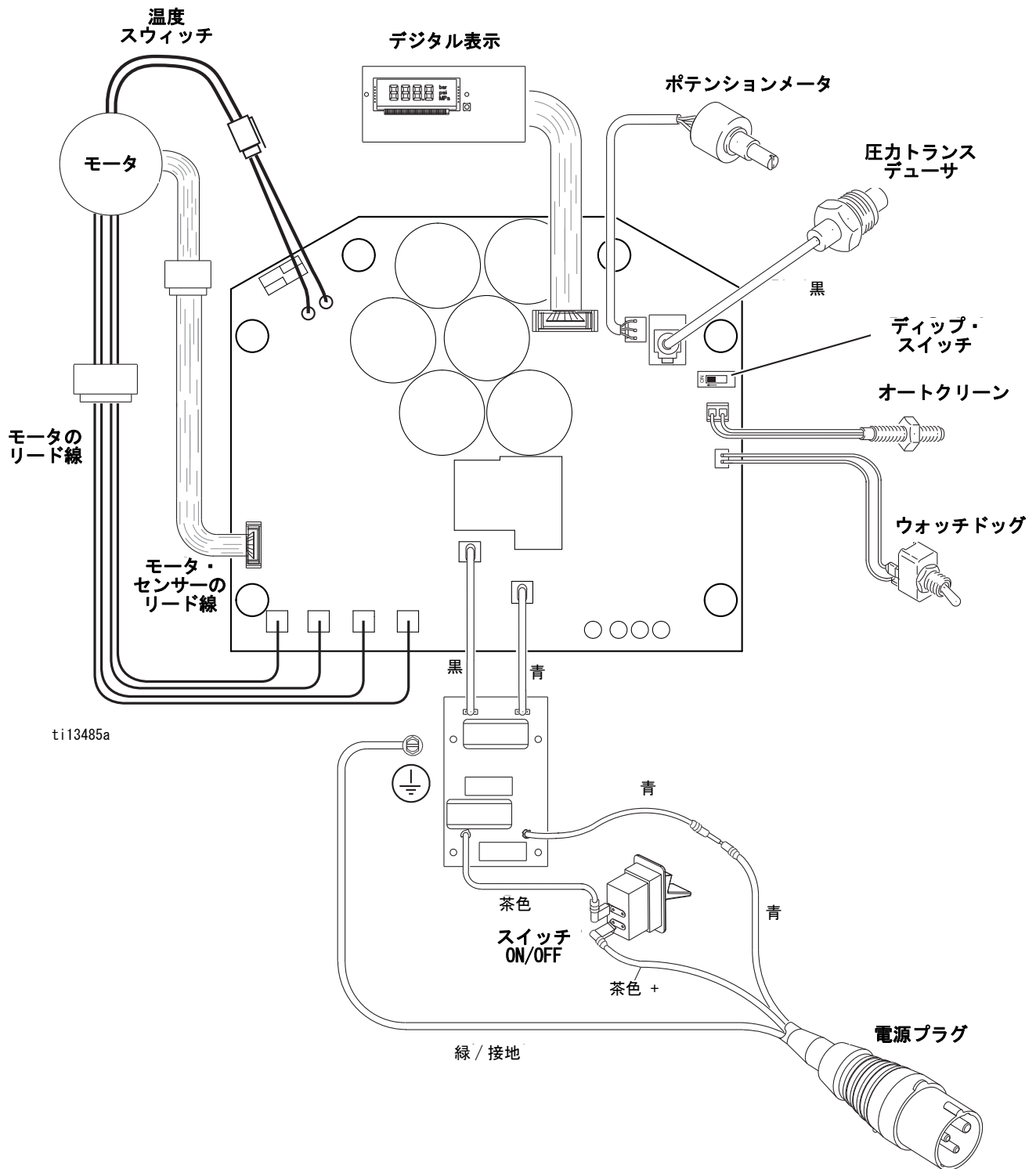
120V モデル :



120V モデル (15/20 アンペア・スイッチ付き) :



240V モデル :



Graco Standard Warranty

Graco warrants all equipment referenced in this document which is manufactured by Graco and bearing its name to be free from defects in material and workmanship on the date of sale to the original purchaser for use. With the exception of any special, extended, or limited warranty published by Graco, Graco will, for a period of twelve months from the date of sale, repair or replace any part of the equipment determined by Graco to be defective. This warranty applies only when the equipment is installed, operated and maintained in accordance with Graco's written recommendations.

This warranty does not cover, and Graco shall not be liable for general wear and tear, or any malfunction, damage or wear caused by faulty installation, misapplication, abrasion, corrosion, inadequate or improper maintenance, negligence, accident, tampering, or substitution of non-Graco component parts. Nor shall Graco be liable for malfunction, damage or wear caused by the incompatibility of Graco equipment with structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco, or the improper design, manufacture, installation, operation or maintenance of structures, accessories, equipment or materials not supplied by Graco.

This warranty is conditioned upon the prepaid return of the equipment claimed to be defective to an authorized Graco distributor for verification of the claimed defect. If the claimed defect is verified, Graco will repair or replace free of charge any defective parts. The equipment will be returned to the original purchaser transportation prepaid. If inspection of the equipment does not disclose any defect in material or workmanship, repairs will be made at a reasonable charge, which charges may include the costs of parts, labor, and transportation.

THIS WARRANTY IS EXCLUSIVE, AND IS IN LIEU OF ANY OTHER WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR WARRANTY OF FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Graco's sole obligation and buyer's sole remedy for any breach of warranty shall be as set forth above. The buyer agrees that no other remedy (including, but not limited to, incidental or consequential damages for lost profits, lost sales, injury to person or property, or any other incidental or consequential loss) shall be available. Any action for breach of warranty must be brought within two (2) years of the date of sale.

GRACO MAKES NO WARRANTY, AND DISCLAIMS ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, IN CONNECTION WITH ACCESSORIES, EQUIPMENT, MATERIALS OR COMPONENTS SOLD BUT NOT MANUFACTURED BY GRACO. These items sold, but not manufactured by Graco (such as electric motors, switches, hose, etc.), are subject to the warranty, if any, of their manufacturer. Graco will provide purchaser with reasonable assistance in making any claim for breach of these warranties.

In no event will Graco be liable for indirect, incidental, special or consequential damages resulting from Graco supplying equipment hereunder, or the furnishing, performance, or use of any products or other goods sold hereto, whether due to a breach of contract, breach of warranty, the negligence of Graco, or otherwise.

FOR GRACO CANADA CUSTOMERS

The Parties acknowledge that they have required that the present document, as well as all documents, notices and legal proceedings entered into, given or instituted pursuant hereto or relating directly or indirectly hereto, be drawn up in English. Les parties reconnaissent avoir convenu que la rédaction du présente document sera en Anglais, ainsi que tous documents, avis et procédures judiciaires exécutés, donnés ou intentés, à la suite de ou en rapport, directement ou indirectement, avec les procédures concernées.

Graco Information

For the latest information about Graco products, visit www.graco.com.

For patent information, see www.graco.com/patents.

TO PLACE AN ORDER, contact your Graco distributor or call 1-800-690-2894 to identify the nearest distributor.

*All written and visual data contained in this document reflects the latest product information available at the time of publication.
Graco reserves the right to make changes at any time without notice.*

取扱説明書原文の翻訳。This manual contains Japanese. MM 3A0157

Graco Headquarters: Minneapolis

International Offices: Belgium, China, Japan, Korea

GRACO INC. AND SUBSIDIARIES • P.O. BOX 1441 • MINNEAPOLIS MN 55440-1441 • USA

Copyright 2009, Graco Inc. All Graco manufacturing locations are registered to ISO 9001.

www.graco.com
Revised C, July 2015